（様式第 10）

浜医大　医　４号
令和２年１０月５日

厚生労働大臣　　殿

開設者名　国立大学法人浜松医科大学
学長　今野　弘之　（印）

浜松医科大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第 1 項及び医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 2 の 2 の第 1 項の規定に基づき、令和元年度の業務に関して報告します。

記

1　開設者の住所及び氏名

住　　所	〒431-3192　静岡県浜松市東区半田山一丁目20番1号
氏　　名	国立大学法人浜松医科大学　学長　今野弘之

（注）　開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2　名　　称

浜松医科大学医学部附属病院

3　所在の場所

〒431-3192
静岡県浜松市東区半田山一丁目20番1号　　電話(053)　435－2111

4　診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

(1) 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

（注）　上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1)内科

内科			(有)・無
内科と組み合わせた診療科名等			
1呼吸器内科	2消化器内科	3循環器内科	4腎臓内科
5神経内科	6血液内科	7内分泌内科	8代謝内科
9感染症内科	10アレルギー疾患内科またはアレルギー科		11リウマチ科
診療実績			

（注）1　「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。
2　「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2)外科

外科	有 ・ 無
外科と組み合わせた診療科名 1呼吸器外科　2消化器外科　3乳腺外科　4心臓外科 5血管外科　6心臓血管外科　7内分泌外科　8小児外科	
診療実績	

(注) 1　「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2　「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること（「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと）。

(3)その他の標榜していることが求められる診療科名

1精神科　2小児科　3整形外科　4脳神経外科　5皮膚科　6泌尿器科　7産婦人科 8産科　9婦人科　10眼科　11耳鼻咽喉科　12放射線科　13放射線診断科 14放射線治療科　15麻酔科　16救急科

(注)　標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4)歯科

歯科	有 ・ 無
歯科と組み合わせた診療科名 1小児歯科　2矯正歯科　3口腔外科	
歯科の診療体制	

(注) 1　「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2　「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5)(1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1循環器科　2神経科　3心臓血管外科　4リハビリテーション科　5形成外科 6病理診断科　7小児外科

(注)　標榜している診療科名について記入すること。

5　病床数

精　神	感染症	結　核	療　養	一　般	合　計
３７床	床	床	床	５７６床	６１３床

6　医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職　種	常　勤	非常勤	合　計	職　種	員　数	職　種	員　数

医　　師	399人	31.7人	430.7人	看護補助者	57人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	10人	0.6人	10.6人	理学療法士	20人	臨床検査技師	64人
薬剤師	44人	0人	44人	作業療法士	8人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	0.4人	0.4人	視能訓練士	4人	その他	0人
助産師	38人	0.6人	38.6人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	682人	35.6人	717.6人	臨床工学士	20人	医療社会事業従事者	6人
准看護師	3人	3人	6人	栄養士	0人	その他の技術員	69人
歯科衛生士	2人	0人	2人	歯科技工士	0人	事務職員	133人
管理栄養士	10人	1.5人	11.5人	診療放射線技師	35人	その他の職員	12人

（注）1　報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
2　栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
3「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7　専門の医師数

専門医名	人　数	専門医名	人　数
総合内科専門医	59人	眼科専門医	9人
外科専門医	41人	耳鼻咽喉科専門医	13人
精神科専門医	11人	放射線科専門医	16人
小児科専門医	26人	脳神経外科専門医	7人
皮膚科専門医	8人	整形外科専門医	17人
泌尿器科専門医	5人	麻酔科専門医	29人
産婦人科専門医	21人	救急科専門医	3人
		合　計	265人

（注）1　報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
2　人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8　管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名（　松山幸弘　）　任命年月日　令和２年４月１日

・平成26年4月1日から平成28年3月31日まで　医療安全管理室長（ﾘｽｸﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ担当副病院長）
・平成28年4月1日から平成30年3月31日まで　医療安全管理委員会委員長（病院長）
・令和2年4月1日より医療安全管理委員会委員長（病院長）に就任

9　前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	486.6人	5.5人	492.1人
1日当たり平均外来患者数	1314.4人	54.5人	1369.0人
1日当たり平均調剤数	755.9 剤		
必要医師数	126.6人		
必要歯科医師数	4.0人		
必要薬剤師数	17人		
必要（准）看護師数	293.0人		

（注）1　「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。

2　入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数（毎日の 24 時現在の在院患者数の合計）を暦日で除した数を記入すること。

3　外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。

4　調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

5　必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要（准）看護師数については、医療法施行規則第二十二条の二の算定式に基づき算出すること。

10　施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
集中治療室	254.20m²	鉄骨鉄筋コンクリート	病床数	12床	心電計	(有)・無
			人工呼吸装置	(有)・無	心細動除去装置	(有)・無
			その他の救急蘇生装置	(有)・無	ペースメーカー	(有)・無
無菌病室等	［固定式の場合］ 床面積 316.5 m²　病床数 24床 ［移動式の場合］ 台数 台					
医薬品情報管理室	［専用室の場合］ 床積 21 m² ［共用室の場合］ 共用する室名					
化学検査室	413.17m²	鉄骨鉄筋コンクリート	（主な設備）生化学・免疫全自動分析装置・全自動血液検査システム			
細菌検査室	174.70m²	鉄骨鉄筋コンクリート	（主な設備）自動細菌同定感受性装置・自動血液培養装置			
病理検査室	213.30m²	鉄骨鉄筋コンクリート	（主な設備）自動固定包理装置・パラフィン包理ブロック作成装置・ミクロトーム			
病理解剖室	46.00m²	鉄骨鉄筋コンクリート	（主な設備）排水滅菌システム・固定液作成装置・解剖台			
研究室	436.80m²	鉄骨鉄筋コンクリート	（主な設備）臨床情報検索データベースシステム			
講義室	255.10m²	鉄骨鉄筋コンクリート	室数	1室	収容定員	170人
図書室	61.20m²	鉄骨鉄筋コンクリート	室数	1室	蔵書数	6,200冊程度

（注）1　主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。

2　主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11　紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹　介　率	99．0%	逆　紹　介　率	59．1　%
算出根拠	A：紹　介　患　者　の　数		13868人
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数		9847人
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数		2628人
	D：初　診　の　患　者　の　数		16662人

（注）1　「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2　「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
3　A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12　監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由（注）

氏名	所属	委員長（○を付す）	選定理由	利害関係	委員の要件該当状況
小島　崇宏	大阪A&M法律事務所	○	医療に係る安全管理に関する識見を有するもの	有・(無)	1
桑原　允嗣	**静岡県立高等学校元副校長**		医療を受ける者	有・(無)	2
大磯　義一郎	国立大学法人浜松医科大学		法律に関する見識を有するもの	(有)・無	1
				有・無	
				有・無	
				有・無	

（注）　「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。
1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

13　監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	(有)・無
委員の選定理由の公表の有無	(有)・無
公表の方法 大学ホームページ	

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

1　承認を受けている先進医療の種類（注1）及び取扱患者数

先　進　医　療　の　種　類	取扱患者数
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

（注）1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準（平成二十年厚生労働省告示第百二十九号）第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

（注）2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類（注1）及び取扱患者数

先 進 医 療 の 種 類	取扱患者数
FDGを用いたポジトロン断層撮影によるアルツハイマー病の診断　アルツハイマー病	0人
腹腔鏡下センチネルリンパ節生検	8人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

（注）1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準（平成二十年厚生労働省告示第百二十九号）第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

（注）2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

（注）1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

（注）2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること（当該医療が先進医療の場合についても記入すること）。

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾　　患　　名	患者数		疾　　患　　名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	4	56	ベーチェット病	36
2	筋萎縮性側索硬化症	10	57	特発性拡張型心筋症	39
3	脊髄性筋萎縮症	4	58	肥大型心筋症	17
4	原発性側索硬化症	0	59	拘束型心筋症	0
5	進行性核上性麻痺	8	60	再生不良性貧血	22
6	パーキンソン病	142	61	自己免疫性溶血性貧血	3
7	大脳皮質基底核変性症	4	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	5
8	ハンチントン病	0	63	特発性血小板減少性紫斑病	22
9	神経有棘赤血球症	0	64	血栓性血小板減少性紫斑病	4
10	シャルコー・マリー・トゥース病	0	65	原発性免疫不全症候群	5
11	重症筋無力症	42	66	IgA 腎症	30
12	先天性筋無力症候群	0	67	多発性嚢胞腎	23
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	40	68	黄色靭帯骨化症	12
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	15	69	後縦靭帯骨化症	81
15	封入体筋炎	1	70	広範脊柱管狭窄症	4
16	クロウ・深瀬症候群	2	71	特発性大腿骨頭壊死症	52
17	多系統萎縮症	15	72	下垂体性ADH分泌異常症	14
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	29	73	下垂体性TSH分泌亢進症	4
19	ライソゾーム病	6	74	下垂体性PRL分泌亢進症	25
20	副腎白質ジストロフィー	1	75	クッシング病	21
21	ミトコンドリア病	4	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0
22	もやもや病	11	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	68
23	プリオン病	0	78	下垂体前葉機能低下症	153
24	亜急性硬化性全脳炎	0	79	家族性高コレステロール血症（ホモ接合体）	0
25	進行性多巣性白質脳症	0	80	甲状腺ホルモン不応症	0
26	HTLV-1関連脊髄症	0	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	1
27	特発性基底核石灰化症	0	82	先天性副腎低形成症	0
28	全身性アミロイドーシス	18	83	アジソン病	0
29	ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	71
30	遠位型ミオパチー	0	85	特発性間質性肺炎	60
31	ベスレムミオパチー	1	86	肺動脈性肺高血圧症	14
32	自己貪食空胞性ミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	1
33	シュワルツ・ヤンペル症候群	0	88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	21
34	神経線維腫症	16	89	リンパ脈管筋腫症	3
35	天疱瘡	19	90	網膜色素変性症	22
36	表皮水疱症	0	91	バッド・キアリ症候群	2
37	膿疱性乾癬（汎発型）	14	92	特発性門脈圧亢進症	0
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	1	93	原発性胆汁性肝硬変	12
39	中毒性表皮壊死症	0	94	原発性硬化性胆管炎	3
40	高安動脈炎	12	95	自己免疫性肝炎	3
41	巨細胞性動脈炎	7	96	クローン病	168
42	結節性多発動脈炎	14	97	潰瘍性大腸炎	167
43	顕微鏡的多発血管炎	14	98	好酸球性消化管疾患	1
44	多発血管炎性肉芽腫症	12	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	0
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	8	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46	悪性関節リウマチ	25	101	腸管神経節細胞僅少症	0
47	バージャー病	3	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	0
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	2	103	CFC症候群	0
49	全身性エリテマトーデス	165	104	コステロ症候群	0
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	101	105	チャージ症候群	0
51	全身性強皮症	53	106	クリオピリン関連周期熱症候群	0
52	混合性結合組織病	19	107	全身型若年性特発性関節炎	0
53	シェーグレン症候群	16	108	TNF受容体関連周期性症候群	0
54	成人スチル病	11	109	非典型溶血性尿毒症症候群	0
55	再発性多発軟骨炎	2	110	ブラウ症候群	0

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾　患　名	患者数		疾　患　名	患者数
111	先天性ミオパチー	1	161	家族性良性慢性天疱瘡	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162	類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む。）	6
113	筋ジストロフィー	3	163	特発性後天性全身性無汗症	5
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164	眼皮膚白皮症	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	165	肥厚性皮膚骨膜症	1
116	アトピー性脊髄炎	0	166	弾性線維性仮性黄色腫	0
117	脊髄空洞症	2	167	マルファン症候群	4
118	脊髄髄膜瘤	0	168	エーラス・ダンロス症候群	1
119	アイザックス症候群	0	169	メンケス病	0
120	遺伝性ジストニア	1	170	オクシピタル・ホーン症候群	0
121	神経フェリチン症	0	171	ウィルソン病	0
122	脳表ヘモジデリン沈着症	0	172	低ホスファターゼ症	0
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0	173	VATER症候群	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	0	174	那須・ハコラ病	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	175	ウィーバー症候群	0
126	ペリー症候群	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	0	177	有馬症候群	0
128	ビッカースタッフ脳幹脳炎	0	178	モワット・ウィルソン症候群	0
129	痙攣重積型（二相性）急性脳症	0	179	ウィリアムズ症候群	0
130	先天性無痛無汗症	0	180	ATR－X症候群	0
131	アレキサンダー病	0	181	クルーゾン症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	0	182	アペール症候群	0
133	メビウス症候群	0	183	ファイファー症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	184	アントレー・ビクスラー症候群	0
135	アイカルディ症候群	0	185	コフィン・シリス症候群	0
136	片側巨脳症	0	186	ロスムンド・トムソン症候群	0
137	限局性皮質異形成	0	187	歌舞伎症候群	1
138	神経細胞移動異常症	0	188	多脾症候群	0
139	先天性大脳白質形成不全症	1	189	無脾症候群	0
140	ドラベ症候群	0	190	鰓耳腎症候群	1
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	191	ウェルナー症候群	1
142	ミオクロニー欠神てんかん	0	192	コケイン症候群	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	193	プラダー・ウィリ症候群	3
144	レノックス・ガストー症候群	0	194	ソトス症候群	0
145	ウエスト症候群	0	195	ヌーナン症候群	0
146	大田原症候群	0	196	ヤング・シンプソン症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	197	1p36欠失症候群	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198	4p欠失症候群	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199	5p欠失症候群	0
150	環状20番染色体症候群	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151	ラスムッセン脳炎	0	201	アンジェルマン症候群	0
152	PCDH19関連症候群	0	202	スミス・マギニス症候群	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	0	203	22q11.2欠失症候群	0
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	204	エマヌエル症候群	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156	レット症候群	0	206	脆弱X症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	0	207	総動脈幹遺残症	0
158	結節性硬化症	1	208	修正大血管転位症	0
159	色素性乾皮症	1	209	完全大血管転位症	0
160	先天性魚鱗癬	0	210	単心室症	0

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾　患　名	患者数		疾　患　名	患者数
211	左心低形成症候群	0	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
212	三尖弁閉鎖症	1	260	シトステロール血症	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0	261	タンジール病	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	262	原発性高カイロミクロン血症	0
215	ファロー四徴症	0	263	脳腱黄色腫症	0
216	両大血管右室起始症	0	264	無βリポタンパク血症	0
217	エプスタイン病	0	265	脂肪萎縮症	0
218	アルポート症候群	1	266	家族性地中海熱	1
219	ギャロウェイ・モワト症候群	0	267	高IgD症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	1	268	中條・西村症候群	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	1	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0
222	一次性ネフローゼ症候群	30	270	慢性再発性多発性骨髄炎	0
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	0	271	強直性脊椎炎	3
224	紫斑病性腎炎	7	272	進行性骨化性線維異形成症	0
225	先天性腎性尿崩症	0	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
226	間質性膀胱炎（ハンナ型）	2	274	骨形成不全症	0
227	オスラー病	3	275	タナトフォリック骨異形成症	0
228	閉塞性細気管支炎	0	276	軟骨無形成症	2
229	肺胞蛋白症（自己免疫性又は先天性）	0	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	0
230	肺胞低換気症候群	0	278	巨大リンパ管奇形（頚部顔面病変）	0
231	α1－アンチトリプシン欠乏症	0	279	巨大静脈奇形（頚部口腔咽頭びまん性病変）	1
232	カーニー複合	0	280	巨大動静脈奇形（頚部顔面又は四肢病変）	1
233	ウォルフラム症候群	0	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	1
234	ペルオキシソーム病（副腎白質ジストロフィーを除く。）	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
235	副甲状腺機能低下症	1	283	後天性赤芽球癆	0
236	偽性副甲状腺機能低下症	0	284	ダイアモンド・ブラックファン貧血	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	285	ファンコニ貧血	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	4	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	287	エプスタイン症候群	0
240	フェニルケトン尿症	0	288	自己免疫性出血病XIII	0
241	高チロシン血症1型	0	289	クロンカイト・カナダ症候群	1
242	高チロシン血症2型	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0
243	高チロシン血症3型	0	291	ヒルシュスプルング病（全結腸型又は小腸	0
244	メープルシロップ尿症	0	292	総排泄腔外反症	0
245	プロピオン酸血症	0	293	総排泄腔遺残	0
246	メチルマロン酸血症	0	294	先天性横隔膜ヘルニア	0
247	イソ吉草酸血症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0	296	胆道閉鎖症	0
249	グルタル酸血症1型	0	297	アラジール症候群	0
250	グルタル酸血症2型	0	298	遺伝性膵炎	0
251	尿素サイクル異常症	0	299	嚢胞性線維症	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	300	IgG4関連疾患	3
253	先天性葉酸吸収不全	0	301	黄斑ジストロフィー	0
254	ポルフィリン症	0	302	レーベル遺伝性視神経症	0
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	303	アッシャー症候群	0
256	筋型糖原病	0	304	若年発症型両側性感音難聴	0
257	肝型糖原病	0	305	遅発性内リンパ水腫	0
258	ガラクトース－１－リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	306	好酸球性副鼻腔炎	17

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾　患　名	患者数		疾　患　名	患者数
307	カナバン病	0	321	非ケトーシス型高グリシン血症	0
308	進行性白質脳症	0	322	β―ケトチオラーゼ欠損症	0
309	進行性ミオクローヌスてんかん	0	323	芳香族L－アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
310	先天異常症候群	0	324	メチルグルタコン酸尿症	0
311	先天性三尖弁狭窄症	0	325	遺伝性自己炎症疾患	0
312	先天性僧帽弁狭窄症	0	326	大理石骨病	0
313	先天性肺静脈狭窄症	0	327	特発性血栓症（遺伝性血栓性素因によるものに限る。）	0
314	左肺動脈右肺動脈起始症	0	328	前眼部形成異常	0
315	ネイルパテラ症候群（爪膝蓋骨症候群）／LMX1B関連腎症	0	329	無虹彩症	0
316	カルニチン回路異常症	0	330	先天性気管狭窄症	0
317	三頭酵素欠損症	0	331	特発性多中心性キャッスルマン病	3
318	シトリン欠損症	1	332	膠様滴状角膜ジストロフィー	0
319	セピアプテリン還元酵素（SR）欠損症	0	333	ハッチンソン・ギルフォード症候群	0
320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール（GPI）欠損症	0			

（注）「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等（基本診療科）

施設基準の種類	施設基準の種類
・特定機能病院入院基本料(7対1)	・患者サポート体制充実加算
・特定機能病院入院基本料(13対1)	・褥瘡ハイリスク患者ケア加算
・臨床研修病院入院診療加算　基幹型	・ハイリスク妊娠管理加算
・救急医療管理加算	・ハイリスク分娩管理加算
・超急性期脳卒中加算	・入退院支援加算２
・妊産婦緊急搬送入院加算	・地域連携診療計画加算
・診療録管理体制加算1	・入院時支援加算
・医師事務作業補助体制加算(50対1)	・総合評価加算
・急性期看護補助体制加算(5割未満25対1)	・呼吸ケアチーム加算
・看護職員夜間配置加算（12対1）配置加算１	・後発医薬品使用体制加算1
・看護補助加算2(50対1){精神}	・病棟薬剤業務実施加算1
・療養環境加算	・病棟薬剤業務実施加算2
・重症者等療養環境特別加算	・データ提出加算2
・無菌治療室管理加算1	・提出データ評価加算
・無菌治療室管理加算2	・認知症ケア加算２
・緩和ケア診療加算	・せん妄ハイリスク患者ケア加算
・個別栄養食事管理加算	・精神疾患診療体制加算
・精神科身体合併症管理加算	・精神科急性期医師配置加算2のイ
・精神科リエゾンチーム加算	・地域医療体制確保加算
・摂食障害入院医療管理加算	・特定集中治療室管理料2
・がん診療連携拠点病院加算	・特定集中治療室管理料　小児加算
・栄養サポートチーム加算	・新生児特定集中治療室管理料1
・医療安全対策加算1	・新生児治療回復室入院医療管理料
・感染防止対策加算1	・小児入院医療管理料2
・感染防止対策地域連携加算	・小児入院医療管理料　プレイルーム加算
・抗菌薬適正使用支援加算	・地域歯科診療支援病院歯科初診料

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

5　届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等（基本診療科）

施　設　基　準　の　種　類	施　設　基　準　の　種　類
・歯科外来診療環境体制加算２	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等（特掲診療科）

施設基準の種類	施設基準の種類
・植込型除細動器移行期加算	・がん治療連携計画策定料
・高度難聴指導管理料	・がん治療連携管理料
・外来栄養食事指導料（注2）	・外来がん患者在宅連携指導料
・心臓ペースメーカー指導管理料の注5に規定する遠隔モニタリング加算	・肝炎インターフェロン治療計画料
・慢性維持透析患者外来医学管理料の注3に規定する腎代替療法実績加算	・薬剤管理指導料
・糖尿病合併症管理料	・検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料
・がん性疼痛緩和指導管理料	・医療機器安全管理料1
・がん患者指導管理料イ	・医療機器安全管理料2
・がん患者指導管理料ロ	・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
・がん患者指導管理料ハ	・持続血糖測定器加算（間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合）
・がん患者指導管理料ニ	・持続血糖測定器加算（間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合）
・移植後患者指導管理料（臓器移植後）	・造血器腫瘍遺伝子検査
・移植後患者指導管理料（造血幹細胞移植後）	・遺伝学的検査
・糖尿病透析予防指導管理料	・骨髄微小残存病変量測定
・小児運動器疾患指導管理料	・BRCA1／2遺伝子検査
・乳腺炎重症化予防ケア・指導料	・がんゲノムプロファイリング検査
・婦人科特定疾患治療管理料	・抗HLA抗体（スクリーニング検査及び抗体特異性同定検査）
・腎代替療法指導管理料	・HPV核酸検出
・院内トリアージ実施料	・HPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
・夜間休日救急搬送医学管理料	・検体検査管理加算(Ⅳ)
・救急搬送看護体制加算	・国際標準検査管理加算
・外来リハビリテーション診療料	・遺伝カウンセリング加算
・外来放射線照射診療料	・遺伝性腫瘍カウンセリング加算
・ニコチン依存症管理料	・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
・療養・就労両立支援指導料の注3に規定する相談支援加算	・植込型心電図検査
・開放型病院共同指導料	・時間内歩行試験及びシャルトウォーキングテスト

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等（特掲診療科）

施設基準の種類	施設基準の種類
・胎児心エコー法	・連携充実加算
・ヘッドアップティルト試験	・無菌製剤処理料
・人工膵臓	・心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）
・皮下連続式グルコース測定	・脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）
・長期継続頭蓋内脳波検査	・廃用症候群リハビリテーション料（Ⅰ）
・神経学的検査	・運動器リハビリテーション料（Ⅰ）
・補聴器適合検査	・呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）
・全視野精密網膜電図	・がん患者リハビリテーション料
・ロービジョン検査判断料	・集団コミュニケーション療法料
・コンタクトレンズ検査料1	・各リハビリテーションの初期加算
・小児食物アレルギー負荷検査	・児童思春期精神科専門管理加算
・内服・点滴誘発試験	・認知療法・認知行動療法1
・センチネルリンパ節生検(乳がんに係るものに限る)	・精神科作業療法
・CT透視下気管支鏡検査加算	・精神科ショート・ケア「小規模なもの」
・経気管支凍結生検法	・精神科デイ・ケア「小規模なもの」
・画像診断管理加算1	・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)
・画像診断管理加算2	・多血小板血漿処置
・ポジトロン断層撮影又はポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影	・エタノールの局所注入(甲状腺)
・CT撮影及びMRI撮影	・エタノールの局所注入(副甲状腺)
・冠動脈CT撮影加算	・人工腎臓慢性維持透析を行った場合1
・血流予備量比コンピューター断層撮影	・導入期加算2
・大腸CT撮影加算	・透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算
・心臓MRI撮影加算	・一酸化窒素吸入療法
・乳房MRI撮影加算	・医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6(歯科点数表第2章第9部の通則4を含む。)に掲げる手術
・抗悪性腫瘍剤処方管理加算	・悪性黒色腫センチネルリンパ節加算
・外来化学療法加算1	・皮膚移植術（死体）

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等（特掲診療科）

施 設 基 準 の 種 類	施 設 基 準 の 種 類
・組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術))	・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(同種骨移植（非生体）（同種骨移植（特殊なものに限る。)))	・経カテーテル大動脈弁置換術
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	・経皮的冠動脈ステント留置術
・後縦靭帯骨化症（前方進入によるもの）	・磁気ナビゲーション加算
・椎間板内酵素注入療法	・経皮的中隔心筋焼灼術
・腫瘍脊椎骨全摘術	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・脳腫瘍覚醒下マッピング加算	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術　リードレスペースメーカーの場合
・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置交換術	・植込型心電図記録計移植術及び植込型心電図記録計摘出術
・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
・羊膜移植術	・植込型除細動器移植術、植込型除細動器交換術及び経静脈電極抜去術(レーザーシースを用いるもの)
・緑内障手術（緑内障治療用インプラント挿入術（プレートのあるもの））	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術
・人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術	・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
・内視鏡下鼻・副鼻腔手術Ｖ型(拡大副鼻腔手術)	・経皮的循環補助法（ポンプカテーテルを用いたもの）
・乳がんセンチネルリンパ節加算1、乳がんセンチネルリンパ節加算2	・補助人工心臓
・乳腺悪性腫瘍手術（乳輪温存乳房切除術（腋窩郭清を伴わないもの)及び乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))	・経皮的大動脈遮断術
・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)	・ダメージコントロール手術
・胸腔鏡下拡大胸腺摘出術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	・腹腔鏡下胃切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術及び胸腔良性縦隔腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	・腹腔鏡下噴門側胃切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	・腹腔鏡下胃全摘術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・食道縫合術（穿孔、損傷）（内視鏡によるもの）、	・腹腔鏡下胃縮小術（スリーブ状切除によるもの）
・内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）	・胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)
・小腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、結腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、腎（腎盂）腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）	・体外衝撃波胆石破砕術
・尿管腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、膀胱腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、腟腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）	・腹腔鏡下肝切除術(部分切除及び外側区域切除)
・胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	・腹腔鏡下肝切除術(亜区域切除、1区域切除(外側区域切除を除く)、2区域切除及び3区域切除以上のもの)
・縦隔鏡下食道悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	・体外衝撃波膵石破砕術
・経皮的冠動脈形成術	・腹腔鏡下膵腫瘍摘出術

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等（特掲診療科）

施 設 基 準 の 種 類	施 設 基 準 の 種 類
・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術	・麻酔管理料(Ⅱ)
・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	・放射線治療専任加算
・体外衝撃波腎・尿管結石破砕術	・外来放射線治療加算
・同種死体腎移植術	・高エネルギー放射線治療
・生体腎移植術	・高エネルギー放射線治療の1回線量増加加算
・膀胱水圧拡張術	・強度変調放射線治療（IMRT)の1回線量増加加算
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	・強度変調放射線治療(IMRT)
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	・画像誘導放射線治療(IGRT)
・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）	・体外照射呼吸性移動対策加算
・腹腔鏡下腎盂形成手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	・定位放射線治療（直線加速器による放射線治療）
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）	・定位放射線治療呼吸性移動対策加算・その他のもの
・腹腔鏡下膣式子宮全摘術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	・保険医療機関間の連携による病理診断
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術 （子宮体がんに限る。）	・保険医療機関間の連携によるデジタル病理画像による術中迅速病理組織標本作製
・胃瘻造設術(内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む)	・保険医療機関間の連携によるデジタル病理画像による迅速細胞診
・乳房切除術（遺伝性乳癌卵巣癌症候群の患者に対して行うものに限る。）	・病理診断管理加算2
・子宮附属器腫瘍摘出術（遺伝性乳癌卵巣癌症候群の患者に対して行うものに限る。）	・悪性腫瘍病理組織標本加算
・輸血管理料Ⅰ	・医療機器安全管理料(歯科)
・輸血適正使用加算	・歯科疾患管理料の注11に規定する総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料
・貯血式自己血輸血管理体制加算	・歯科口腔リハビリテーション料2
・コーディネート体制充実加算	・上顎骨形成術(骨移動に伴う場合に限る。)(歯科診療の診療に係るものに限る。)
・自己生体組織接着剤作成術	・下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療の診療に係るものに限る。)
・自己クリオプレシピテート作製術	・歯周組織再生誘導手術
・同種クリオプレシピテート作製術	・広範囲顎骨支持型装置埋入手術
・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・胃瘻造設時嚥下機能評価加算	・CAD/CAM冠
・麻酔管理料（Ⅰ）	・

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・EBウイルス感染症迅速診断（リアルタイムPCR法）	・
・急性リンパ性白血病細胞の免疫遺伝子再構成を利用した定量的PCR法による骨髄微小残存病変（MRD）量の測定	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

（注）1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。
（注）2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療（当該病院において提供していたものに限る。）から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	(1). 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	病理診断科：臨床研修CPC（病理診断科主催）10回，CPC・PMC（病理学講座主催）11回，小児がんカンファレンス（小児科主催）12回 検査部：血液内科カンファレンス（週1回）、ハートチーム（TAVI)カンファレンス（週1回）
剖検の状況	剖検症例数 25 例 ／ 剖検率 9.2 %

（注） 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

（様式第3）

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
質の高い消化器がん診療の均てん化を目指した、専門医制度の評価・育成プログラム構築システムの開発	今野 弘之	－	15,210,000	補 委	厚生労働省
医療事故に関連した医療従事者に対する対応等に関する研究	大磯 義一郎	法学	2,600,000	補 委	厚生労働省
地域保険における保健所に求められる役割の明確化に向けた研究	尾島 俊之	健康社会医学	5,300,000	補 委	厚生労働省
災害発生時の分野横断的かつ長期的なマネジメント体制構築に資する研究	尾島 俊之	健康社会医学	12,990,000	補 委	厚生労働省
プラダー・ウィリ症候群における診療ガイドラインの作成	緒方 勤	小児科学	5,200,000	補 委	厚生労働省
ビッグデータからの機械学習による前立腺癌小線源療法の予後予測法の開発と均てん化への応用	中村 和正	放射線腫瘍学	9,000,000	補 委	厚生労働省
効率的な治験の実施に資するGCPの運用等に関する研究	渡邉 裕司	－	2,600,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
特発性間質性肺炎の診断精度向上とエビデンス創出のためのクラウド型統合データベースとインタラクティブ診断システムの開発に関する研究	須田 隆文	内科学第二	8,318,525	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
モチベーションの脳機能イメージング	尾内 康臣	生体機能イメージング	26,390,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
乳幼児期早期の発達遅滞に関する、認知機能評価と脳MRIによる大規模追跡研究	武井 教使	子どものこころの発達研究センター	3,120,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
フェムト秒レーザーを用いた時間分解計測による生体光学特性値の推定	星 詳子	生体医用光学	1,560,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
世界初の機能亢進型GNAS生殖細胞変異の同定と新規GNAS機能低下発症機序の解明	緒方 勤	小児科学	4,810,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
皮膚と消化管に共通発現するスプラバシンの欠損が導く内因性アトピー性皮膚炎の解明	戸倉 新樹	皮膚科学	3,380,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
アルツハイマー病における病因物質と保護性神経炎症・神経生存の生体画像化と治療戦略	尾内 康臣	生体機能イメージング	5,070,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
セロトニン神経系トリプルトレーサーPETによる双極性／単極性うつ病の鑑別法の検討	山末 英典	精神医学	10,080,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
免疫チェックポイント分子阻害を利用した細胞内寄生菌感染に対する新規ワクチンの開発	須田 隆文	内科学第二	7,640,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
発達精神医学におけるプレシジョン・メディシンの展開	土屋 賢治	子どものこころの発達研究センター	7,800,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
血中循環腫瘍細胞の新規検出方法の開発と臨床応用	竹内 裕也	外科学第二	6,240,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
光テクノロジーを利用した血液ブドウ糖濃度の連続測定法の開発	土井 松幸	集中治療部	780,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
携帯型e-ポートフォリオを活用した臨床実習カリキュラムの開発	五十嵐 寛	臨床医学教育学	910,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
リハビリテーション効果向上に資する感情調整と認知機能の相互メカニズムの解明	大星 有美	イノベーション光医学	780,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
ADHDの親子中間表現型(認知,脳画像)の特定及び子への行動特性移行に関する研究	原田 妙子	子どものこころの発達研究センター	520,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
出生コホートを用いた乳幼児期の睡眠と神経発達との関連の検証	奥村 明美	子どものこころの発達研究センター	1,430,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
いじめと不登校に関する縦断的学校調査	西村 倫子	子どものこころの発達研究センター	1,170,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
脳磁計を用いた自閉スペクトラム症における「許し」の脳内基盤の解明	平石 博敏	生体機能イメージング	1,300,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会

輻射輸送方程式の解析解	町田　学	生体医用光学	910,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
がん患者における薬物代謝酵素の活性マーカーを用いたオピオイドの体内動態予測の評価	内藤　隆文	薬剤部	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
肺高血圧症新規治療薬の血中濃度測定系の確立とTDMの実用化に向けた研究	小田切　圭一	臨床研究センター	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
薬物分解エステラーゼPON3の遺伝子多型と薬物動態に関する臨床薬理学的検討	渡邉　裕司	－	910,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
上皮間葉転換遺伝子データより見出された遺伝子の機能解析及び薬剤感受性に関する検討	山出　美穂子	第一内科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
S1PR2が原発性胆汁性胆管炎の疾患特異性と病態に及ぼす影響の解明と治療への応用	川田　一仁	第二内科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
肺障害・肺線維化における血管内皮細胞と線維芽細胞の相互作用	乾　直輝	臨床薬理学	780,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
結核菌のハイブリッドエピトープ長鎖ペプチドを用いた新規ナノ粒子ワクチンの開発	榎本　紀之	保健管理センター	780,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
腎臓内RASの日内変動における肝臓由来AGTの糸球体濾過圧の関与	大橋　温	卒後教育センター	780,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
胎生期の低栄養環境による精巣機能障害の発症機序の解明	藤澤　泰子	小児科	2,405,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
毛包の免疫寛容とその破綻における免疫チェックポイントPD-1/PD-L1の関わり	伊藤　泰介	皮膚科学	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
炎症性腸疾患におけるDysbiosisと腸内細菌代謝産物が発癌に与える影響の解析	倉地　清隆	外科学第二	780,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
膵癌神経浸潤を中心とした癌微小環境における脂質合成・代謝機構の解析	森田　剛文	外科学第二	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
口腔細菌による出血性脳疾患の病態生理解明	外村　和也	臨床医学教育学	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
植物性エストロゲンによる脳動脈瘤形成・破裂予防の研究	平松　久弥	脳神経外科学	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
核磁気共鳴エラストグラフィー と走査型超音波顕微鏡による頭蓋内腫瘍の弾性率解析	小泉　慎一郎	脳神経外科	910,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ヘパリン/ヘパラン硫酸―細胞内シグナル伝達系を介する絨毛細胞の遊走制御機構	杉村　基	産婦人科家庭医療学	910,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
自然免疫応答を介した蝸牛内炎症の難聴発症における役割および病態の解明	中西　啓	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
頭頸部癌におけるニュートリエピジェネティックス解析	大和谷　崇	耳鼻咽喉科	650,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
わが国の希少・未診断眼疾患患者に対する地域網羅的な診療体制の構築と診断法の開発	堀田　喜裕	眼科学	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
難治性外眼筋疾患の簡易診断法の開発とデータベース構築	彦谷　明子	眼科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ADHD児の社会的機能に影響を与える予測因子の探索的検討	中原　竜治	子どものこころの発達研究センター	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
神経性やせ症の治療にピアサポーターが与える効果とピアサポーター自身の回復について	望月　洋介	精神科神経科	910,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
PACを用いた神経再生の検討	大村　威夫	整形外科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
自己免疫疾患根治を可能とする革新的DDS創薬	清水　広介	分子病態イメージング	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
がん患者における神経障害性疼痛治療薬の鎮痛効果および有害作用の変動予測法の構築	川上　純一	薬剤部	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
LIX1L蛋白質発現癌細胞でのRNA翻訳伸長反応制御による標的治療薬開発研究	中村　悟己	腫瘍病理学	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
川崎病後の動脈硬化進展に関する冠動脈先端画像法とマルチバイオマーカーとの融合研究	石川　貴充	周産母子センター	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

Aryl Hydrocarbon Receptorを介した小腸粘膜防御機構の制御	杉本　健	内科学第一	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
肥大型心筋症の病因解明と新規薬物療法の開発に向けた研究	前川　裕一郎	内科学第三	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
オートファジーを制御するmicroRNAを用いたポンペ病骨格筋の治療戦略	福田　冬季子	小児科学	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
破裂予防薬や予測法の開発に向けた腹部大動脈瘤壁の脈管新生と刷り応力の関連性の検討	犬塚　和徳	第二外科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
熱中症における血管内皮障害とその治療法の探索	中島　芳樹	麻酔・蘇生学	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
障害を受けた灌流下培養血管内皮細胞に高血糖、高酸素が及ぼす影響	小幡　由佳子	集中治療部	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
パーキンソン病モデルラットでの視床下核と淡蒼球刺激によるドパミン放出のPET研究	杉山　憲嗣	脳神経外科学	650,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
視床下核刺激のパーキンソン病モデルサルに対する微細運動改善効果は薬剤に勝るか	浅川　哲也	脳神経外科学	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
CCKBRの神経再生における役割	大和　雄	長寿運動器疾患教育研究	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
去勢抵抗性前立腺癌のドセタキセルに対する耐性獲得機構の解明と新規治療法の開発	三宅　秀明	泌尿器科学	2,080,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
4D PC-VIPRを用いたロボット支援下腎部分切除術時の腎動脈客観的流速解析	本山　大輔	泌尿器科	780,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
羊水塞栓症の病態解明に向けた羊水胎児成分と母体の反応系に関する基礎的研究	田村　直顕	産婦人科学	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
指接着型胎児オキシメーターと胎児心拍数モニタリングを併用した新規分娩管理法	内田　季之	産科婦人科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
精子運動活性化と受精率を向上させる糖転移酵素である新規薬剤の開発	柴田　俊章	産科婦人科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
子宮頸部上皮内病変に対する日帰り光線力学療法(PDT)の基礎的・臨床的研究	村上　浩雄	産科婦人科	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
新規に発見した加齢黄斑変性責任遺伝子PANK4の機能解析と発症メカニズムの追究	大石　健太郎	光ゲノム医学	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
妊娠糖尿病既往のある女性の分娩後の糖尿病発症を予防するチーム医療のあり方	安田　孝子	臨床看護学	650,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
急性腎障害後に持続するサルコペニアの成因および治療法の解明	加藤　明彦	血液浄化療法部	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
赤血球不規則抗体陽性例における抗原陽性血輸血の前方向的研究と登録システムの構築	竹下　明裕	輸血・細胞治療部	2,080,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
脳内活性化ミクログリアのマルチモダル動態解析による次世代うつ病治療シーズの創出	亀野　陽亮	精神医学	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
がん免疫療法の治療効果早期判定を目的としたパーフォリン標的画像診断法の開発	鈴木　千恵	分子病態イメージング	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
薬剤感受性に基づく小児白血病の新たな治療標的の解明	坂口　公祥	小児科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ゲノム解析による潰瘍性大腸炎のサイトメガロウイルス薬剤耐性株再活性化の治療戦略	大澤　恵	光学医療診断部	1,950,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
Toll様受容体を介した粘液線毛輸送系の促進機序の解明と慢性気道疾患への治療応用	藤澤　朋幸	第二内科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
間質性肺炎を標的とした膠原病に対する新規免疫複合療法の開発	中村　祐太郎	第二内科	1,950,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
皮膚癌リンパ節転移診断のための相補的画像解析	藤原　雅雄	形成外科	2,470,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
二次性リンパ浮腫の病態解明と新しい薬物治療法の開発	佐野　真規	第二外科	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
定量位相顕微鏡技術を用いた新規循環腫瘍細胞検出技術の臨床応用	菊池　寛利	第二外科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

腹部大動脈瘤術後2型エンドリークによる瘤増大を予測予防するための革新的研究	海野　直樹	外科学第二	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
近赤外分光法を用いた脳および重要臓器のオートレギュレーション評価	栗田　忠代士	手術部	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
グリコカリックス解析による出血性ショックに対する水素吸入療法の開発	御室　総一郎	集中治療部	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
歯髄幹細胞を用いた脳動脈瘤破裂予防の研究	牧野　洋	麻酔科蘇生科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
マルチコプターと人工知能を用いた自律救急災害診療	齊藤　岳児	救急部	2,080,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
脳腫瘍に対する間葉系幹細胞を用いた自殺遺伝子療法	天野　慎士	脳神経外科学	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
単純ヘルペスチミジンキナーゼ遺伝子導入Muse細胞を用いた肺癌脳転移新規治療戦略	鮫島　哲朗	脳神経外科	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
PACを用いた脊髄再生の検討	松山　幸弘	整形外科学	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
アドレナリン気管内投与による羊水塞栓症の救命法の開発	磯村　直美	周産母子センター	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
好酸球性副鼻腔炎におけるトリプトファン代謝機構の解明と新規治療法の創製	石川　竜司	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	2,080,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
トキシコキネティクスに着目した第3世代アゾール系抗真菌薬の投与設計法の確立	山田　尚広	薬剤部	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
不規則抗体が関連する遅発性溶血性輸血副作用の真の発生頻度とその原因因子の解析	藤原　晴美	輸血・細胞治療部	650,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
脂質解析に基づく大腸癌抗癌剤耐性機序の解明	平出　貴乗	臨床腫瘍学	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
頭頸部癌におけるRNAメチル化修飾	望月　大極	耳鼻咽喉科	910,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
中咽頭癌個別化医療のためのクリニカルシーケンス導入の試み	今井　篤志	耳鼻咽喉科	650,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
マルチモダリティ脳画像マーカーによる軽症大うつ病の客観的治療法選択の実現に向けて	鈴木　峻介	精神科神経科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
母の産後うつと児のアレキシサイミア傾向の関連の解明	崔　多美	子どものこころの発達研究センター	2,210,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
多角的なプロテオーム解析による特発性間質性肺炎の分子発現解明と臨床応用	穂積　宏尚	内科学第二	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
The mechanism of intravascular lymphoma	糟谷　啓	皮膚科学	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
食物アレルギーの耐性獲得と免疫グロブリンの親和性成熟	夏目　統	小児科学	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
人工心肺による脳機能障害の予防法：水素ガスによる予後改善効果の検証	大橋　雅彦	麻酔科蘇生科	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
凝固カスケード制御による頭部外傷後の肺障害に対する新規治療戦略の開発	安井　秀樹	救急部	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
UCP4発現誘導による脳虚血耐性獲得メカニズムの解明と新たな脳梗塞治療法への挑戦	福司　康子	イノベーション光医学	910,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
上斜筋麻痺における下直筋後転術の治療効果に影響を与える因子に関する検討	古森　美和	眼科	390,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
がん病態時における血中miRNAに基づくオピオイドの至適薬物療法の構築	佐藤　聖	薬剤部	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
NAFLDから発生した肝細胞癌の生物学的特徴の解明と新規治療標的の探索	武田　真	第二外科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
炎症性物質ーオキシトシン相互作用の網羅的解析：自閉症中核症状の治療シーズ創出	宇佐美　梨奈	精神科神経科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
インテグリン阻害剤を応用した新たな肝線維症治療薬の開発	則武　秀尚	内科学第二	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

トリプトファン代謝物の網羅的解析による免疫療法のバイオマーカー開発	柄山　正人	化学療法部	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
肥満喘息の難治化メカニズムと新規治療基盤の創出	鈴木　勇三	内科学第二	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
免疫寛容の誘導を利用した喘息に対する経鼻投与型樹状細胞ワクチンの開発	古橋　一樹	検査部	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
脊髄虚血による対麻痺のモニター法と遅発性麻痺への新しい管理法の開発	川島　信吾	麻酔・蘇生学	2,080,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
エストロゲンによるNrf2活性化に着目した閉経後メタボリック症候群の治療戦略	成味　恵	周産母子センター	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
メンブレンパッチ法による術中の分子生物学的迅速解析法の確立	山口　裕貴	耳鼻咽喉科	2,860,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
組織線維化の非侵襲的診断法の開発	間賀田　泰寛	分子病態イメージング	2,080,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
妊娠維持に有効な腸内、腟内および子宮内腔細菌叢の同定	安立　匡志	産科婦人科	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
拒食症からの回復過程の脳分子メカニズムの解明：PETとMRIの統合的解析	横倉　正倫	精神医学	2,640,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
神経性やせ症の治療ステージ進展に伴う脳糖代謝とデフォルトモードネットワークの変化	栗田　大輔	精神科神経科	3,630,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
統合失調症者における喫煙の自己治療作用へのα7ニコチン性受容体と神経炎症の関与	和久田　智靖	精神科神経科	4,290,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
DNAミスマッチ修復正常型高頻度変異大腸がんのDNAポリメラーゼ校正機能解析	岩泉　守哉	臨床検査医学	3,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
急性腎障害からの遠隔臓器障害に対する善玉経路としての神経免疫応答の検証	安田　日出夫	第一内科	4,290,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
アトピー性皮膚炎における表皮角化細胞のガレクチン7産生機構とその意義	島内　隆寿	皮膚科	5,610,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
炎症性皮膚疾患における皮膚浸潤T細胞のMDR1発現とステロイド抵抗性	藤山　俊晴	皮膚科	4,290,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
チロシンキナーゼ阻害剤による動脈硬化促進に関わるバイオマーカーの網羅的探索研究	小野　孝明	第三内科	4,620,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
CAC発癌における間葉系幹細胞の役割の解明	山本　真義	外科学第二	2,970,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
分子状水素吸入による人工心肺後の脳障害軽減・血管内皮グリコカリックス保護効果	加藤　孝澄	麻酔・蘇生学	3,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
グリコカリックスの敗血症重症化における基礎的検討	八木原　正浩	麻酔科蘇生科	1,320,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ビタミンD欠乏が脳動脈瘤の破裂に及ぼす影響とメカニズムの検討	鈴木　興太	麻酔科蘇生科	5,280,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
間質性膀胱炎の診断に有用な尿中バイオマーカーの探索	大塚　篤史	泌尿器科	3,630,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
頭頸部癌におけるナノポアシークエンサーを使った1分子メチル化解析法の確立	遠藤　志織	耳鼻咽喉科	7,590,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
長期予後の改善を目標とした新たな周術期強化栄養運動プログラムの開発	平松　良浩	周術期等生活機能支援	4,290,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
乳幼児期から学齢期の睡眠パターンとその遷移が認知発達に与える影響	鈴木　晴香	子どものこころの発達研究センター	4,950,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
妊婦のやせに伴う胎生期発育不全が児の認知神経機能に及ぼす影響：脳画像による検討	岩渕　俊樹	子どものこころの発達研究センター	5,610,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
集団療法型MANTRAによる神経性やせ症の改善効果とその脳内メカニズムの検討	磯部　智代	精神科神経科	5,610,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
反芻思考に焦点づけた認知行動療法の自閉スペクトラム症への効果とその脳基盤の検討	竹市　峻	精神科神経科	5,280,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
がん病態時におけるフェンタニルの鎮痛効果と血液中のサイトカイン濃度との関係解析	石田　卓矢	薬剤部	3,630,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

抗菌薬による腸内フローラの変化が及ぼすCYP3A4代謝薬剤の薬効・安全性への影響	八木　達也	薬剤部	6,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
自閉症におけるα4β2ニコチン性受容体とオキシトシン投与効果:PET研究	市川　太祐	精神科神経科	5,610,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
小児期の感覚過敏性の脳神経学的基盤と言語発達に与える影響について	西村　裕子	子どものこころの発達研究センター	4,620,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
フレイル・サルコペニアがICD, CRT植え込み患者に与える影響の検討	成瀬　代士久	内科学第三	4,950,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
Hyperemic Absolute coronary flowの信頼性評価試験	茂木　聡	第三内科	9,570,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
利尿薬による糸球体濾過圧およびアンジオテンシノーゲン濾過量の変動を可視化する	石垣　さやか	血液浄化療法部	1,980,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
in vivoイメージングによる虚血腎障害後の腎臓・肺内NETs動態の解明	藤倉　知行	第一内科	5,610,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
年齢による中長期歩行改善の違い一成人脊柱変形に対する矯正固定術後の検討	有馬　秀幸	整形外科	6,270,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
体液貯留心不全患者におけるトルバプタン光学異性体の体内動態予測法の構築	阿久津　駿太	薬剤部	1,620,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
関節リウマチの治療効果改善を目的とした新規血中トシリズマブ濃度測定法の開発	望月　啓志	薬剤部	1,620,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
総合ビタミン製剤の連続投与が高度腎機能障害患者に及ぼす影響の解明	田中　紀章	薬剤部	1,620,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
がん患者における血清中ニボルマブ濃度と免疫関連副作用との関係解析	阿部　一樹	薬剤部	1,620,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
標的分子依存的な消失に着目したデノスマブ体内動態と有害事象の個人差要因の解明	志田　拓顕	薬剤部	1,620,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
代謝物血中濃度に着目したアプレピタント臨床効果予測マーカーの探索	鈴木　祐介	薬剤部	1,620,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
血漿タンパク質への結合動態に着目した遊離形ダプトマイシン濃度の変動要因の解明	宮寺　友香里	薬剤部	1,620,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
産褥期女性におけるCYP3A活性変動の定量的評価	田口　怜奈	薬剤部	1,620,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
がん進行度に基づくセツキシマブの血中動態・臨床効果の個人差要因の解明	柴田　海斗	薬剤部	1,620,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
大規模出生コホートに基づく子どもの適応を規定する要因に関する研究	鈴木　香苗	児童青年期精神医学	2,640,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
GDF11およびmyostatinの顎口腔領域における発現分布の解析	林　祐太郎	歯科口腔外科学	3,630,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
エストロゲン受容体陽性HER2陰性乳癌に対するS－1術後療法ランダム化比較第Ⅲ相試験（POTENT）	小倉　廣之	第一外科	0	補委	(公財)ﾊﾟﾌﾞﾘｯｸﾍﾙｽﾘｻｰﾁｾﾝﾀｰ
精神的価値が成長する感性イノベーション拠点	山本　清二	ｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝ光医学研究室	38,963,600	補委	国立研究開発法人科学技術振興機構
保存期慢性腎臓病患者を対象とした臨床研究－ダルベポエチン アルファ製剤低反応に関する検討－（BRIGHTEN）	安田　日出夫	第一内科	0	補委	公益財団法人先端医療振興財団
International Study for Treatment of Standard Risk Childhood Relapsed ALL 2010(IntReALL SR 2010) 第一再発小児急性リンパ性白血病標準リスク群に対する第III相国際共同臨床研究	坂口　公祥	小児科学講座	0	補委	国立大学法人三重大学医学部附属病院
急性脊髄損傷患者に対する顆粒球コロニー刺激因子を用いたランダム化、プラセボ対照、二重盲検並行群間比較試験第III相試験	松山　幸弘	整形外科学講座	507,000	補委	公益社団法人日本医師会
FDG-PETによるアルツハイマー病の診断に関する多施設共同研究-SDAF-PET-	尾内　康臣	生体機能ｲﾒｰｼﾞﾝｸﾞ研究室	0	補委	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
光による脂質の同定制御観察技術すなわちオプトリピドミクスの創生	瀬藤　光利	細胞分子解剖学講座	14,439,113	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
光による脂質の同定制御観察技術すなわちオプトリピドミクスの創生	岡崎　茂俊	医学分光応用寄附研究室	2,600,000	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構

人間力活性化によるスーパー日本人の育成拠点	尾内　康臣	生体機能ｲﾒｰｼﾞﾝｸﾞ研究室	6,877,000	補委	国立研究開発法人科学技術振興機構
適時適切な医療・ケアを目指した、認知症の人等の全国的な情報登録・追跡を行う研究	尾内　康臣	生体機能ｲﾒｰｼﾞﾝｸﾞ研究室	800,000	補委	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター理事長
新規オキシトシン製剤を用いた自閉スペクトラム症の革新的治療法の開発と治療効果予測技術の開発、および発症とその改善効果発現のメカニズム解明に基づく次世代治療薬シーズの創出	山末　英典	精神医学講座	31,738,425	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
社会心理学・神経科学・内分泌学の連携による文化差の遺伝的基盤の解明	山末　英典	精神医学講座	200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
静脈血栓塞栓症における非ビタミンK阻害経口抗凝固薬治療の前向き追跡研究	海野　直樹	外科学第二講座	0	補委	国立大学法人三重大学医学部附属病院
自閉スペクトラム症中核症状に対する初の治療薬実用化のための医師主導多施設治験	山末　英典	精神医学講座	80,000,000	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
中間周波における神経作用（痛覚閾値）の調査	田中　悟志	総合人間科学講座心理学	12,660,209	補委	総務省
スマート治療室における患者情報統合モニター上にデータ表示可能な、外科医の指先や鏡視下手術鉗子ならびにロボットアーム先端に装着可能な小型組織オキシメーター温度センサーの開発	海野　直樹	外科学第二講座	37,083,070	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
小児の視機能に対するICTの影響に関する研究	佐藤　美保	眼科学	180,000	補委	国立研究開発法人国立成育医療研究センター
発達障害の治療法の確立をめざすトランスレーショナルリサーチ	山末　英典	精神医学講座	1,500,000	補委	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
次世代医療機器・再生医療等製品評価指標作成事業（再生医療分野）	松山　幸弘	整形外科学	0	補委	国立医薬品食品衛生研究所
がん細胞特異的に発現するRNA結合蛋白質を標的としたがん治療薬の探索	椙村　春彦	腫瘍病理学講座	10,175,680	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
高リスクER陽性乳がんの内分泌療法耐性機序解明に基づく診断法と薬物療法の開発	北川　雅敏	分子生物学講座	2,860,000	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
避難・緊急活動支援統合システムの研究開発 研究題目：保健医療活動支援の需要算出・最適供給技術の研究開発	尾島　俊之	健康社会医学	2,620,000	補委	国立研究開発法人防災科学技術研究所
長期追跡調査と多面的評価を基盤とした骨粗鬆症性脊椎骨折の標準的治療指針の確立	松山　幸弘	整形外科学講座	1,000,000	補委	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
次世代医療機器・再生医療等製品評価指標作成事業（再生医療分野）	松山　幸弘	整形外科学講座	300,000	補委	国立医薬品食品衛生研究所
遺伝性腫瘍のゲノム医療の臨床実装のための基盤技術開発と精度管理に関する研究	椙村　春彦	腫瘍病理学講座	1,000,000	補委	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
大規模症例解析に基づく成育希少疾患の診断法と治療法の開発	緒方　勤	小児科学講座	1,500,000	補委	国立研究開発法人国立成育医療研究センター
低身長を伴った思春期早発症症例における遺伝学的原因および臨床像の検討の研究	緒方　勤	小児科学講座	350,000	補委	国立研究開発法人国立成育医療研究センター
三次元像フローサイトメトリー細胞診による血中循環腫瘍細胞の質的診断法の開発	菊池　寛利	第二外科	9,550,000	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
視線計測装置及び視線計測装置用診断プログラム(GF01)による自閉スペクトラム症(ASD)の診断能に関する多施設共同試験	土屋　賢治	子どものこころの発達研究センター	20,488,650	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
非線形光学効果が照らす生体物質交換の仕組み	本藏　直樹	医生理学	31,850,000	補委	国立研究開発法人科学技術振興機構
慢性血栓塞栓性肺高血圧症に関する多施設共同レジストリ研究	小田切　圭一	臨床研究センター	27,300	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
Epidermal Growth Factor Receptor activating mutation positive（EGFRm+）進行非小細胞肺がん（NSCLC）初回オシメルチニブ治療の効果、安全性及び増悪後の治療に関する観察研究-Reiwa-	須田　隆文	内科学第二講座	7,700	補委	公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンター
非小細胞肺癌におけるフルルビプロフェンアキセチル周術期投与による術後再発予防効果を検証するための多施設共同ランダム化第II相比較試験（FLAX試験）	船井　和仁	外科学第一講座	0	補委	国立病院機構横浜医療センター

計　189件

（注） 1　国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申 請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入するこ

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、〇印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

（様式第3）

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
1	大場　健司	医学教育推進センター	Abnormal thyroid hormone response to TRH in a case of macro-TSH and the cut-off value for screening cases of inappropriate TSH elevation	Endocrine journal	Original Article
2	大場　健司	医学教育推進センター	Influence of thyroid dysfunction on brain natriuretic peptide level in health examination participants	Endocrine journal	Original Article
3	柄山　正人	化学療法部	Clinical features of three-dimensional computed tomography-based radiologic phenotypes of chronic obstructive pulmonary disease	International journal of chronic obstructive pulmonary disease	Original Article
4	柄山　正人	化学療法部	Intravoxel incoherent motion magnetic resonance imaging for predicting the long-term efficacy of immune checkpoint inhibitors in patients with non-small-cell lung cancer	Lung cancer (Amsterdam, Netherlands)	Original Article
5	柄山　正人	化学療法部	Physiological and morphological differences of airways between COPD and asthma-COPD overlap	Scientific reports	Original Article
6	川瀬　晃和	外科学第一講座	A risk scoring system for predicting visceral pleural invasion in non-small lung cancer patients	General thoracic and cardiovascular surgery	Original Article
7	船井　和仁	外科学第一講座	Optimal method for measuring invasive size that predicts survival in invasive mucinous adenocarcinoma of the lung	JOURNAL OF CANCER RESEARCH AND CLINICAL ONCOLOGY	Original Article

8	船井　和仁	外科学第一講座	Proportion of goblet cell is associated with malignant potential in invasive mucinous adenocarcinoma of the lung	PATHOLOGY INTERNATIONAL	Original Article
9	椎谷　紀彦	外科学第一講座	Clinical feasibility and safety of transoesophageal motor-evoked potential monitoring	European journal of cardio-thoracic surgery : official journal of the European Association for Cardio-thoracic Surgery	Original Article
10	椎谷　紀彦	外科学第一講座	Preoperative concurrent endocrine therapy with chemotherapy in luminal B-like breast cancer	Breast cancer (Tokyo, Japan)	Original Article
11	森田　剛文	外科学第二講座	Body weight loss after surgery affects the continuity of adjuvant chemotherapy for pancreatic cancer	BMC cancer	Original Article
12	竹内　裕也	外科学第二講座	A rectal neuroendocrine tumor in a patient with Crohn´s disease: a case report and literature review	Clinical Journal of Gastroenterology	Original Article
13	竹内　裕也	外科学第二講座	Flow dynamics of type II endoleaks can determine sac expansion after endovascular aneurysm repair using four-dimensional flow-sensitive magnetic resonance imaging analysis	journal of Vascular Surgery	Original Article
14	竹内　裕也	外科学第二講座	Minimally Invasive Sentinel Lymph Node Biopsy for Gastric Cancer	Epub 2018 Dec 14.	Original Article
15	倉田　健太郎	眼科	X-linked Retinitis Pigmentosa in Japan: Clinical and Genetic Findings in Male Patients and Female Carriers	International journal of molecular sciences	Original Article

16	細野　克博	眼科学講座	Retinal structure in Leber's congenital amaurosis caused by mutations	Human genome variation	Original Article
17	村上　浩雄	産科婦人科	Photodynamic Therapy Using Talaporfin Sodium for Cervical Intraepithelial Neoplasia	The Journal of Japan Society for Laser Surgery and Medicine	Original Article
18	伊東　宏晃	産婦人科学講座	Difference in Z scores of placental weight and fetal/placental weight ratio by mode of delivery	The journal of obstetrics and gynaecology research	Original Article
19	伊東　宏晃	産婦人科学講座	Elevated bradykinin receptor type 1 expression in postpartum acute myometritis: Possible involvement in augmented interstitial edema of the atonic gravid uterus	The journal of obstetrics and gynaecology research	Original Article
20	伊東　宏晃	産婦人科学講座	Plasticity of histone modifications around Cidea and Cidec genes with secondary bile in the amelioration of developmentally-programmed hepatic steatosis	Scientific reports	Original Article
21	鈴木　一有	産婦人科地域医療学講座	Sampling, identification and sensory evaluation of odors of a newborn baby's head and amniotic fluid	SCIENTIFIC REPORTS	Original Article
22	岩渕　俊樹	子どものこころの発達研究センター	Incongruence of grammatical subjects activates brain regions involved in perspective taking in a sentence-sentence verification task	Journal of Neurolinguistics	Original Article
23	岩渕　俊樹	子どものこころの発達研究センター	Neural architecture of human language: Hierarchical structure building is independent from working memory	Neuropsychologia	Original Article

24	岩渕　俊樹	子どものこころの発達研究センター	Sensory Processing Patterns and Fusiform Activity During Face Processing in Autism Spectrum Disorder	Autism research : official journal of the International Society for Autism Research	Original Article
25	原田　妙子	子どものこころの発達研究センター	Association of Genetic Risks With Autism Spectrum Disorder and Early Neurodevelopmental Delays Among Children Without Intellectual Disability	JAMA Netw Open	Original Article
26	西村　倫子	子どものこころの発達研究センター	Neurodevelopmental Trajectory During Infancy and Diagnosis of Autism Spectrum Disorder as an Outcome at 32 Months of Age	Epidemiology (Cambridge, Mass.)	Original Article
27	西村　倫子	子どものこころの発達研究センター	Reliability and validity of the Japan Ijime Scale and estimated prevalence of bullying among fourth through ninth graders: A large-scale school-based survey	Psychiatry and clinical neurosciences	Original Article
28	土屋　賢治	子どものこころの発達研究センター	Developmental changes in attention to social information from childhood to adolescence in autism spectrum disorders: a comparative study	Molecular autism	Original Article
29	崔　多美	子どものこころの発達研究センター	Interaction effect of oxytocin receptor (OXTR) rs53576 genotype and maternal postpartum depression on child behavioural problems	Scientific reports	Original Article
30	林　祐太郎	歯科口腔外科学講座	BMP6 expression in the adult rat central nervous system	Journal of chemical neuroanatomy	Original Article
31	髙貝　就	児童青年期精神医学講座	Sensory processing in children with autism spectrum disorder and the mental health of primary caregivers	BRAIN & DEVELOPMENT	Original Article

32	三澤　清	耳鼻咽喉科	5-Hydroxymethylcytosine and ten-eleven translocation dioxygenases in head and neck carcinoma	Journal of Cancer	Original Article
33	三澤　清	耳鼻咽喉科	An Ameloblastoma in the Middle Ear	JOURNAL OF INTERNATIONAL ADVANCED OTOLOGY	Original Article
34	三澤　清	耳鼻咽喉科	Neuropeptide receptor genes GHSR and NMUR1 are candidate epigenetic biomarkers and predictors for surgically treated patients with oropharyngeal cancer	Scientific reports	Original Article
35	三澤　清	耳鼻咽喉科	Prostanoid receptor genes confer poor prognosis in head and neck squamous cell carcinoma via epigenetic inactivation	Journal of translational medicine	Original Article
36	三澤　清	耳鼻咽喉科	SALL2 Is a Novel Prognostic Methylation Marker in Patients with Oral Squamous Carcinomas: Associations with SALL1 and SALL3 Methylation Status	DNA AND CELL BIOLOGY	Original Article
37	細川　誠二	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	Management of elderly patients with head and neck carcinoma: analysis of outcomes for radical versus palliative treatment	International journal of clinical oncology	Original Article
38	細川　誠二	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	Porfimer sodium-mediated photodynamic therapy in patients with head and neck squamous cell carcinoma	Photodiagnosis and photodynamic therapy	Original Article
39	細川　誠二	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	Relevance of Level IIb Neck Dissection in Patients with Head and Neck Squamous Cell Carcinomas	World journal of surgery	Original Article

40	細川　誠二	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	Risk Factors and Prognostic Factors of Hearing Impairment in Neonatal Intensive Care Unit-Treated Infants	Audiology & neuro-otology	Original Article
41	栗田　忠代士	手術部	Assessment of cerebral and renal autoregulation using near-infrared spectroscopy under normal, hypovolaemic and postfluid resuscitation conditions in a swine model: An observational study	European journal of anaesthesiology	Original Article
42	栗田　忠代士	手術部	Assessment of the benefits of head-up preoxygenation using near-infrared spectroscopy with pulse oximetry in a swine model	Journal of clinical monitoring and computing	Original Article
43	大石　彰	周産母子センター	De novo ZBTB7A variant in a patient with macrocephaly, intellectual disability, and sleep apnea: implications for the phenotypic development in 19p133 microdeletions	Journal of human genetics	Original Article
44	田村　直顕	周産母子センター	Acute inflammation in the uterine isthmus coincides with postpartum acute myometritis in the uterine body involving refractory postpartum hemorrhage of unknown etiology after cesarean	Journal of reproductive immunology	Original Article
45	平松　良浩	周術期等生活機能支援学講座	Multidisciplinary team management for prevention of pneumonia and long-term weight loss after esophagectomy: a single-center retrospective study	Esophagus : official journal of the Japan Esophageal Society	Original Article
46	夏目　統	小児科学講座	Washing with Water Alone versus Soap in Maintaining Remission of Eczema	Pediatrics international : official journal of the Japan Pediatric Society	Original Article

47	緒方　勤	小児科学講座	A de novo TOP2B variant associated with global developmental delay and autism spectrum disorder	Molecular genetics & genomic medicine	Original Article
48	緒方　勤	小児科学講座	Coexistence of a CAV3 mutation and a DMD deletion in a family with complex muscular diseases	Brain & development	Original Article
49	緒方　勤	小児科学講座	Comprehensive clinical and molecular studies in split-hand/foot malformation: identification of two plausible candidate genes (LRP6 and UBA2)	European journal of human genetics	Original Article
50	緒方　勤	小児科学講座	De novo AFF3 variant in a patient with mesomelic dysplasia with foot malformation	Journal of human genetics	Original Article
51	緒方　勤	小児科学講座	IGF2 Mutations: Report of Five Cases, Review of the Literature, and Comparison with H19/IGF2:IG-DMR Epimutations	The Journal of clinical endocrinology and metabolism	Original Article
52	緒方　勤	小児科学講座	Present status of prophylactic thyroidectomy in pediatric multiple endocrine neoplasia 2: a nationwide survey in Japan 1997-2017	Journal of pediatric endocrinology and metabolism	Original Article
53	緒方　勤	小児科学講座	Random X chromosome inactivation in patients with Klinefelter syndrome	Molecular and cellular pediatrics	Original Article
54	福田　冬季子	小児科学講座	Identification of de novo CSNK2A1 and CSNK2B variants in cases of global developmental delay with seizures	Journal of human genetics	Original Article

55	福田　冬季子	小児科学講座	Three Cases of Hemiconvulsion-Hemiplegia-Epilepsy Syndrome With Focal Cortical Dysplasia Type IIId	Frontiers in neurology	Original Article
56	長谷川　智彦	整形外科	Clinical outcome of condoliase injection treatment for lumbar disc herniation: Indications for condoliase therapy	Journal of orthopaedic science : official journal of the Japanese Orthopaedic Association	Original Article
57	長谷川　智彦	整形外科	Multi-Rod Constructs Can Increase the Incidence of Iliac Screw Loosening after Surgery for Adult Spinal Deformity	Asian spine journal	Original Article
58	長谷川　智彦	整形外科	The characteristics of the patients with radiologically severe cervical ossification of the posterior longitudinal ligament of the spine: A CT-based multicenter cross-sectional study	Journal of orthopaedic science : official journal of the Japanese Orthopaedic Association	Original Article
59	長谷川　智彦	整形外科	The Titanium-Coated PEEK Cage Maintains Better Bone Fusion with the Endplate than the PEEK Cage 6 Months After PLIF Surgery-A Multicenter, Prospective,	Spine	Original Article
60	吉田　剛	整形外科学講座	Adverse Events Related to Transcranial Electric Stimulation for Motor-evoked Potential Monitoring in High-risk Spinal Surgery	Spine	Original Article
61	吉田　剛	整形外科学講座	Alert Timing and Corresponding Intervention With Intraoperative Spinal Cord Monitoring for High-Risk Spinal Surgery	Spine	Original Article

62	吉田　剛	整形外科学講座	Brain Activation in a Cynomolgus Macaque Model of Chymopapain-Induced Discogenic Low Back Pain: A Preliminary Study	Spine surgery and related research	Original Article
63	吉田　剛	整形外科学講座	Characteristics of false-positive alerts on transcranial motor evoked potential monitoring during pediatric scoliosis and adult spinal deformity surgery: an "anesthetic fade"	Journal of neurosurgery. Spine	Original Article
64	吉田　剛	整形外科学講座	Cultural Variations in the Minimum Clinically Important Difference Thresholds for SRS-22R After Surgery for Adult Spinal Deformity	Spine deformity	Original Article
65	吉田　剛	整形外科学講座	Impact of shift to the concave side of the C7-center sacral vertical line on de novo degenerative lumbar scoliosis progression in elderly volunteers	Journal of orthopaedic science : official journal of the Japanese Orthopaedic Association	Original Article
66	吉田　剛	整形外科学講座	Lumbar Retrolisthesis Compensates Spinal Kyphosis	Spine deformity	Original Article
67	吉田　剛	整形外科学講座	The Risk of Proximal Junctional Kyphosis Decreases in Patients With Optimal Thoracic Kyphosis	Spine deformity	Original Article
68	松山　幸弘	整形外科学講座	Comparison of Postoperative Outcomes According to Compensatory Changes of the Thoracic Spine Among Patients With a T1 Slope More Than 40°	Spine	Original Article
69	松山　幸弘	整形外科学講座	Effect of Perioperative Mental Status on Health-related Quality of Life in Patients With Adult Spinal Deformities	Spine	Original Article

70	松山　幸弘	整形外科学講座	Intraoperative bacterial contamination in total hip and knee arthroplasty is associated with operative duration and peeling of the iodine-containing	European journal of orthopaedic surgery & traumatology : orthopedie traumatologie	Original Article
71	松山　幸弘	整形外科学講座	Investigation of the control of rotational alignment in the tibial component during total knee arthroplasty	European journal of orthopaedic surgery & traumatology : orthopedie traumatologie	Original Article
72	松山　幸弘	整形外科学講座	Lysophosphatidic acid precursor levels decrease and an arachidonic acid-containing phosphatidylcholine level increases in the dorsal root ganglion of mice after peripheral nerve	Neuroscience letters	Original Article
73	松山　幸弘	整形外科学講座	Muscle recovery at 1 year after the anterior cruciate ligament reconstruction surgery is associated with preoperative and early postoperative muscular strength of the knee extension	European journal of orthopaedic surgery & traumatology : orthopedie traumatologie	Original Article
74	松山　幸弘	整形外科学講座	Preoperative Age and Prognostic Nutritional Index Are Useful Factors for Evaluating Postoperative Delirium Among Patients With Adult Spinal Deformity	Spine	Original Article
75	松山　幸弘	整形外科学講座	Preoperative and Postoperative Sitting Radiographs for Adult Spinal Deformity Surgery: Upper Instrumented Vertebra Selection Using Sitting C2 Plumb Line Distance to Prevent Proximal Junctional Kyphosis	Spine	Original Article

76	松山　幸弘	整形外科学講座	Pro-gastrin-releasing peptide as a marker for the Ewing sarcoma family of tumors	International journal of clinical oncology	Original Article
77	松山　幸弘	整形外科学講座	Reaching minimal clinically important difference in adult spinal deformity surgery: a comparison of patients from North America and Japan	Journal of neurosurgery. Spine	Original Article
78	星野　裕信	整形外科学講座	Characteristics of radiographic morphometries of the lower leg in subjects with progression of knee osteoarthritis in the TOEI cohort	Aging clinical and experimental research	Original Article
79	星野　裕信	整形外科学講座	Hypertension Is Related to Positive Global Sagittal Alignment: A Cross-Sectional Cohort Study	Asian spine journal	Original Article
80	星野　裕信	整形外科学講座	Intrawound vancomycin powder increases post-operative wound complications and does not decrease periprosthetic joint infection in primary total and unicompartmental knee arthroplasties	Knee surgery, sports traumatology, arthroscopy : official journal of the ESSKA	Original Article
81	星野　裕信	整形外科学講座	Validation of a new 25D radiographic index evaluating acetabular coverage using ACX software	Hip international : the journal of clinical and experimental research on hip pathology and therapy	Original Article
82	宗　修平	生殖周産期医学講座	Effect of moderately increased thyroid-stimulating hormone levels and presence of thyroid antibodies on pregnancy among infertile women	Reproductive medicine and biology	Original Article
83	宗　修平	生殖周産期医学講座	Noninvasive evaluation of testicular function by measuring oxygen saturation of scrotal-testicular tissue	Reproductive biology	Original Article

84	横倉　正倫	精神医学講座	Alterations in serotonin transporter and body image-related cognition in anorexia nervosa	NeuroImage. Clinical	Original Article
85	大橋　温	卒後教育センター	Increased heart rate is associated with intrarenal renin-angiotensin system activation in chronic kidney disease patients	Clinical and experimental nephrology	Original Article
86	大橋　温	卒後教育センター	Salt Loading Aggravates the Relationship between Melatonin and Proteinuria in Patients with Chronic Kidney Disease	Internal medicine (Tokyo, Japan)	Original Article
87	大橋　温	卒後教育センター	The Urinary Angiotensinogen to Urinary Albumin Ratio Reflects Whether the Renin-angiotensin System in the Kidney Is Activated due to Filtration of Plasma Angiotensinogen through the Damaged Glomeruli or the Production of Angiotensinogen in	Internal Medicine	Original Article
88	佐藤　正範	第一外科	Insufficiency of prosthetic posterolateral overlap related to recurrence after laparoscopic transabdominal preperitoneal inguinal hernioplasty, as assessed by video review	BMC surgery	Original Article
89	小泉　圭	第一外科	Efficacy of denosumab for restoring normal bone mineral density in women receiving adjuvant aromatase inhibitors for early breast cancer	Medicine	Original Article
90	安田　日出夫	第一内科	IL-17A activated by Toll-like receptor 9 contributes to the development of septic acute kidney injury	American journal of physiology. Renal physiology	Original Article

91	早乙女　雅夫	第三内科	Pinacidil, a KATP channel opener, stimulates cardiac Na/Ca exchanger function through the NO/cGMP/PKG signaling pathway in guinea pig cardiac ventricular myocytes	Naunyn-Schmiedeberg's archives of pharmacology	Original Article
92	早乙女　雅夫	第三内科	Plasma Globotriaosylsphingosine Level as a Primary Screening Target for Fabry Disease in Patients With Left Ventricular Hypertrophy	Circulation journal : official journal of the Japanese Circulation Society	Original Article
93	菊池　寛利	第二外科	Tenascin C in the Tumor-Nerve Microenvironment Enhances Perineural Invasion and Correlates With Locoregional Recurrence in Pancreatic Ductal	Pancreas	Original Article
94	佐野　真規	第二外科	Development of a noninvasive skin evaluation method for lower limb lymphedema	Lymphat Res Biol.	Original Article
95	佐々木　茂和	第二内科	Liganded T3 receptor β2 inhibits the positive feedback autoregulation of the gene for GATA2, a transcription factor critical for thyrotropin	PloS one	Original Article
96	藤澤　朋幸	第二内科	Clinical Significance of Serum Chitotriosidase Level in Anti-MDA5 Antibody-positive Dermatomyositis-associated Interstitial	The Journal of rheumatology	Original Article
97	藤澤　朋幸	第二内科	Nationwide cloud-based integrated database of idiopathic interstitial pneumonias for multidisciplinary	The European respiratory journal	Original Article

98	藤澤　朋幸	第二内科	Once-daily fluticasone furoate/vilanterol combination versus twice-daily budesonide/formoterol combination in the treatment of controlled stable asthma: a randomized crossover trial	Journal of asthma and allergy	Original Article
99	藤澤　朋幸	第二内科	Prognostic factors for primary Sjögren's syndrome-associated interstitial lung diseases	Respiratory medicine	Original Article
100	大江　慎	長寿運動器疾患教育研究講座	Spinal Sagittal Alignment, Hospital Anxiety and Depression Scale Scores, and Patient-Reported Outcome among People with Sagittal Activity	BMJ open	Original Article
101	大和　雄	長寿運動器疾患教育研究講座	Association between a prognostic nutritional index less than 50 and the risk of medical complications after adult spinal deformity surgery	The Journal of rural health : official journal of the American Rural Health Association and the National Rural Health Care Association	Original Article
102	大和　雄	長寿運動器疾患教育研究講座	Differences in the geometrical spinal shape in the sagittal plane according to age and magnitude of pelvic incidence in healthy elderly individuals	Asian spine journal	Original Article
103	大和　雄	長寿運動器疾患教育研究講座	Extensive Spinal Fusion Surgery in Patients With Parkinson Disease or Atypical Parkinsonism: Time Course of Clinical Outcomes in 5 Years Progress Report	Journal of neurosurgery. Spine	Original Article
104	大和　雄	長寿運動器疾患教育研究講座	Long additional rod constructs can reduce the incidence of rod fractures following 3-column osteotomy with pelvic fixation in short term	Journal of orthopaedic science : official journal of the Japanese Orthopaedic Association	Original Article

105	大和　雄	長寿運動器疾患教育研究講座	Rigorous Correction of Sagittal Vertical Axis Is Correlated With Better ODI Outcomes After Extensive Corrective Fusion in Elderly or Extremely Elderly Patients With Spinal	Spine	Original Article
106	永田　泰之	内科学第三講座	Cardiotoxicity of Carfilzomib in Two Japanese Patients with Relapsed Multiple Myeloma	Spine deformity	Original Article
107	佐野　誠	内科学第三講座	Clinical feasibility of pulmonary vein orifice pacing for the prediction of phrenic nerve injury during cryoballoon ablation of atrial fibrillation	Spine deformity	Original Article
108	諏訪　賢一郎	内科学第三講座	Effect of Aortic Valve Disease on 3D Hemodynamics in Patients With Aortic Dilation and Trileaflet Aortic Valve Morphology	INTERNAL MEDICINE	Original Article
109	前川　裕一郎	内科学第三講座	Impact of Hydrostatic Pressure Variations Caused by Height Differences in Supine and Prone Positions on Fractional Flow Reserve Values in the Coronary Circulation	Journal of cardiovascular electrophysiology	Original Article
110	前川　裕一郎	内科学第三講座	Impact of Reduced-Dose Prasugrel vs Standard-Dose Clopidogrel on In-Hospital Outcomes of Percutaneous Coronary Intervention in 62,737 Patients with Acute Coronary Syndromes: A	Journal of magnetic resonance imaging : JMRI	Original Article
111	須田　隆文	内科学第二講座	CD248 and integrin alpha-8 are candidate markers for differentiating lung fibroblast subtypes	Journal of interventional cardiology	Original Article
112	須田　隆文	内科学第二講座	Clinical significance of lower-lobe interstitial lung disease on high-resolution computed tomography in patients with idiopathic	European heart journal. Cardiovascular pharmacotherapy	Original Article

113	須田　隆文	内科学第二講座	Differences in clinical features of acute exacerbation between connective tissue disease-associated interstitial pneumonia and idiopathic pulmonary fibrosis	BMC pulmonary medicine	Original Article
114	須田　隆文	内科学第二講座	Effect of rifampicin and clarithromycin on the CYP3A activity in patients with complex	Respiratory medicine	Original Article
115	須田　隆文	内科学第二講座	Elucidation of the relationships of MET protein expression and gene copy number status with PD-L1 expression and the immune microenvironment in non-small cell lung cancer	Chronic respiratory disease	Original Article
116	須田　隆文	内科学第二講座	G-protein-coupled receptor 40 agonist GW9508 potentiates glucose-stimulated insulin secretion through activation of protein kinase C α and ε in INS-1 cells	Journal of thoracic disease	Original Article
117	須田　隆文	内科学第二講座	Olanzapine-containing antiemetic therapy for the prevention of carboplatin-induced nausea and vomiting	Lung cancer (Amsterdam, Netherlands)	Original Article
118	須田　隆文	内科学第二講座	Prognostic impact of an early marginal decline in forced vital capacity in idiopathic pulmonary fibrosis patients treated with pirfenidone	PloS one	Original Article
119	須田　隆文	内科学第二講座	Pulse oximetric saturation to fraction of inspired oxygen (SpO/FIO) ratio 24 hours after high-flow nasal cannula (HFNC) initiation is a good predictor of HFNC therapy in patients with acute exacerbation of	Cancer chemotherapy and pharmacology	Original Article

120	須田　隆文	内科学第二講座	Switch maintenance therapy with S-1 after induction therapy with carboplatin and nanoparticle albumin-bound paclitaxel in advanced lung squamous cell	Respiratory investigation	Original Article
121	鈴木　勇三	内科学第二講座	Author Correction: Macrophage Mannose Receptor CD206 Predicts Prognosis in Community-acquired Pneumonia	Therapeutic advances in respiratory disease	Original Article
122	鈴木　勇三	内科学第二講座	Body composition changes successfully classify prognosis in patients with mycobacterium avium complex lung disease	Investigational new drugs	Original Article
123	鈴木　勇三	内科学第二講座	Effect of PD-1 inhibitor on exhaled nitric oxide and pulmonary function in non-small cell lung cancer patients with and without COPD	Scientific reports	Original Article
124	鈴木　勇三	内科学第二講座	Heterogeneity analysis of PD-L1 expression and copy number status in EBUS-TBNA biopsy specimens of non-small cell lung cancer: Comparative assessment of primary and metastatic sites	The Journal of infection	Original Article
125	鈴木　勇三	内科学第二講座	Macrophage Mannose Receptor CD206 Predicts Prognosis in Community-acquired Pneumonia	Scientific reports	Original Article
126	鈴木　勇三	内科学第二講座	Successful classification of macrophage-mannose receptor CD206 in severity of anti-MDA5 antibody positive dermatomyositis	Rheumatology (Oxford, England)	Original Article
127	穂積　宏尚	内科学第二講座	Clinical significance of serum S100 calcium-binding protein A4 in idiopathic pulmonary fibrosis	Respirology (Carlton, Vic.)	Original Article

128	穂積　宏尚	内科学第二講座	Efficacy of corticosteroid and intravenous cyclophosphamide in acute exacerbation of idiopathic pulmonary fibrosis: A propensity score-matched	Respirology (Carlton, Vic.)	Original Article
129	穂積　宏尚	内科学第二講座	Efficacy of Glucocorticoids and Calcineurin Inhibitors for Anti-aminoacyl-tRNA Synthetase Antibody-positive Polymyositis/dermatomyositis-associated Interstitial Lung Disease: A Propensity Score-matched Analysis	The Journal of rheumatology	Original Article
130	穂積　宏尚	内科学第二講座	Frequency and clinical relevance of anti-cyclic citrullinated peptide antibody in idiopathic interstitial	Respiratory medicine	Original Article
131	穂積　宏尚	内科学第二講座	Predictors of acute exacerbation in biopsy-proven idiopathic pulmonary fibrosis	Respiratory investigation	Original Article
132	大塚　篤史	泌尿器科	Clinical characteristics of self-reported nocturia in patients with interstitial cystitis, and effects of bladder hydrodistention (with fulguration of Hunner	Lower urinary tract symptoms	Original Article
133	大塚　篤史	泌尿器科	Predictive factors for persistence of preoperative overactive bladder symptoms after transvaginal mesh surgery in women with pelvic organ	Lower urinary tract symptoms	Original Article
134	大塚　篤史	泌尿器科	Therapeutic Endoscopic Treatment Plus Maintenance Dimethyl Sulfoxide Therapy Prolongs Recurrence-Free Time in Patients With Hunner Type Interstitial Cystitis: A	International neurourology journal	Original Article

135	本山　大輔	泌尿器科	Early Single-Center Experience with Robotic Partial Nephrectomy Using the da Vinci Xi: Comparative Assessment with Conventional Open Partial Nephrectomy	Current urology	Original Article
136	本山　大輔	泌尿器科	Improved perioperative outcomes by early unclamping prior to renorrhaphy compared with conventional clamping during robot-assisted partial nephrectomy: a	Journal of robotic surgery	Original Article
137	本山　大輔	泌尿器科	Initial learning curve for robot-assisted partial nephrectomy performed by a single experienced robotic surgeon	Asian journal of endoscopic surgery	Original Article
138	本山　大輔	泌尿器科	Significant impact of three-dimensional volumetry of perinephric fat on the console time during robot-assisted partial nephrectomy	BMC urology	Original Article
139	伊藤　寿樹	泌尿器科学講座	Development of a Complete En-Bloc Technique with Direct Bladder Neck Incision: A Newly Modified Approach for Holmium Laser Enucleation of the Prostate	Journal of endourology	Original Article
140	伊藤　寿樹	泌尿器科学講座	Feasibility of the ACL (albumin, C-reactive protein and lactate dehydrogenase) model as a novel prognostic tool in patients with metastatic renal cell carcinoma previously receiving first-line	Urologic oncology	Original Article
141	伊藤　寿樹	泌尿器科学講座	Optimal Timing of Cabazitaxel Introduction for Japanese Patients With Metastatic Castration-resistant Prostate Cancer	Anticancer research	Original Article

142	三宅　秀明	泌尿器科学講座	Assessment of Factors Predicting Disease Progression in Japanese Patients With Non-Metastatic Castration-resistant Prostate Cancer	ANTICANCER RESEARCH	Original Article
143	三宅　秀明	泌尿器科学講座	Comparative assessment of prognostic outcomes between first-generation antiandrogens and novel androgen-receptor-axis-targeted agents in patients with non-metastatic castration-resistant	INTERNATIONAL JOURNAL OF CLINICAL ONCOLOGY	Original Article
144	三宅　秀明	泌尿器科学講座	Complete response to combination therapy with nivolumab and ipilimumab for metastatic collecting duct carcinoma of the kidney	International cancer conference journal	Original Article
145	三宅　秀明	泌尿器科学講座	Cytoreductive nephrectomy following treatment with anti-vascular endothelial growth factor-targeted agents: is it surgically	ANNALS OF TRANSLATIONAL MEDICINE	Original Article
146	三宅　秀明	泌尿器科学講座	Protocol for a prospective multicenter intervention study (URivo study) assessing biomarkers in patients with previously treated advanced clear cell	International Journal of Clinical Trials	Original Article
147	島内　隆寿	皮膚科	Decreased expression of suprabasin induces aberrant differentiation and apoptosis of epidermal keratinocytes: Possible role for	Journal of dermatological science	Original Article
148	島内　隆寿	皮膚科	Digitally reconstructed top-down view images provide intuitive understanding of the correlation between dermoscopy and histopathology: a good educational tool	The British journal of dermatology	Original Article

149	藤山　俊晴	皮膚科	An intuitive explanation of dermoscopic structures by digitally reconstructed pathological horizontal top-down view images	Scientific reports	Original Article
150	藤山　俊晴	皮膚科	Cholecystokinin Downregulates Psoriatic Inflammation by Its Possible Self-Regulatory Effect on Epidermal Keratinocytes	Journal of immunology (Baltimore, Md. : 1950)	Original Article
151	藤山　俊晴	皮膚科	Plasmacytoid dendritic cells as a possible key player to initiate alopecia areata in the C3H/HeJ mouse	Allergology international : official journal of the Japanese Society of Allergology	Original Article
152	藤山　俊晴	皮膚科	Significance of IL-17A-producing CD8+CD103+ skin resident memory T cells in psoriasis lesion and their possible relationship to clinical course	Journal of dermatological science	Original Article
153	伊藤　泰介	皮膚科学講座	CCR5 is a novel target for the treatment of experimental alopecia areata	Journal of Cutaneous Immunology and Allergy	Original Article
154	伊藤　泰介	皮膚科学講座	Skin infiltration of pathogenic migratory and resident T cells is decreased by Secukinumab treatment in psoriasis	The Journal of investigative dermatology	Original Article
155	影山　玲子	皮膚科学講座	The contribution made by skin-infiltrating basophils to the development of alpha-gal syndrome	Allergy	Original Article
156	糟谷　啓	皮膚科学講座	A steric structure of tufted hair folliculitis	Journal of dermatological science	Original Article

157	糟谷　啓	皮膚科学講座	Capsule-like naevus: digital 3D reconstruction of its steric structure	J Eur Acad Dermatol Venereol	Original Article
158	榎本　紀之	保健管理センター	Analysis of serum adiponectin and leptin in patients with acute exacerbation of idiopathic pulmonary fibrosis	Scientific reports	Original Article
159	榎本　紀之	保健管理センター	Analysis of systemic lupus erythematosus-related interstitial pneumonia: a retrospective multicentre study	Scientific reports	Original Article
160	小西　憲太	放射線腫瘍学講座	Quality of life after external beam radiotherapy for localized prostate cancer: Comparison with other modalities	International journal of urology : official journal of the Japanese Urological Association	Original Article
161	中村　和正	放射線腫瘍学講座	Institutional patient accrual volume and the treatment quality of I-125 prostate seed implantation in a Japanese nationwide prospective cohort study	Strahlentherapie und Onkologie : Organ der Deutschen Rontgengesellschaft ... [et al]	Original Article
162	五島　聡	放射線診断学・核医学講座	Temporal subtraction of low-dose and relatively thick-slice CT images with large deformation diffeomorphic metric mapping and adaptive voxel matching for detection of bone metastases: A STARD-compliant article	Medicine	Original Article
163	川島　信吾	麻酔・蘇生学講座	Effective Dose of Landiolol, an Ultra-Short-Acting β-Blocker, to Decrease Heart Rate During On-Pump, Beating Coronary Artery Bypass Grafting	Journal of cardiothoracic and vascular anesthesia	Original Article

164	中島　芳樹	麻酔・蘇生学講座	Letter to the Editor Is the total propofol dose associated with false-positive motor evoked potentials?	Journal of neurosurgery. Spine	Original Article
165	川上　純一	薬剤部	The Prediction of the Area under the Curve and Clearance of Midazolam from Single-Point Plasma Concentration and Urinary Excretion in Healthy Volunteers	Biological & pharmaceutical bulletin	Original Article
166	内藤　隆文	薬剤部	A Reversed-Phase Mode LC-MS/MS Method Using a Polysaccharide Chiral Selector for Simultaneous Quantitation of Each Enantiomer of Tramadol and its Metabolites in Human Plasma and Evaluation of CYP-Mediated Stereoselective Demethylation	Therapeutic drug monitoring	Original Article
167	内藤　隆文	薬剤部	An enantiomeric quantitative LC-MS/MS method for tolvaptan and its monohydroxylates in human plasma using a reversed-phase separation procedure	Journal of pharmaceutical and biomedical analysis	Original Article
168	内藤　隆文	薬剤部	Impact of Cachexia and Opioid Analgesic Cotreatment on Pregabalin Pharmacokinetics and Central Nervous System Symptoms in Cancer Patients	Therapeutic drug monitoring	Original Article
169	内藤　隆文	薬剤部	Impact of flavin-containing monooxygenase 3 and CYP2C19 genotypes on plasma disposition and adverse effects of voriconazole administered orally in immunocompromised patients	Journal of infection and chemotherapy : official journal of the Japan Society of Chemotherapy	Original Article

170	内藤　隆文	薬剤部	Impact of Light Shielding on Photo-Degradation of Dacarbazine during the Preparation Process	Biological & pharmaceutical bulletin	Original Article
171	内藤　隆文	薬剤部	Quantitative LC-MS/MS method for nivolumab in human serum using IgG purification and immobilized tryptic digestion	ANALYTICAL METHODS	Original Article
172	内藤　隆文	薬剤部	Relationships between concomitant biologic DMARDs and prednisolone administration and blood tacrolimus exposure or serum CYP3A4/5-related markers in rheumatoid arthritis patients	Clinical biochemistry	Original Article
173	内藤　隆文	薬剤部	Relationships between endogenous CYP3A markers and plasma amlodipine exposure and metabolism in early postpartum and non-peripartum women with hypertension	Pregnancy hypertension	Original Article
174	内藤　隆文	薬剤部	Validated liquid chromatography coupled to tandem mass spectrometry method for simultaneous quantitation of tolvaptan and its five major metabolites in human plasma	Annals of clinical biochemistry	Original Article
175	竹下　明裕	輸血・細胞治療部	A Japanese multi-institutional collaborative study of antigen-positive red blood cell (RBC) transfusions in patients with corresponding RBC antibodies	Vox sanguinis	Original Article

176	渡邉　裕司	理事(企画・評価担当)	Calcium Release from Endoplasmic Reticulum Involves Calmodulin-Mediated NADPH Oxidase-Derived Reactive Oxygen Species Production in	INTERNATIONAL JOURNAL OF MOLECULAR SCIENCES	Original Article
177	渡邉　裕司	理事(企画・評価担当)	Transient Laterality of Cerebral Oxygenation Changes in Response to Head-of-Bed Manipulation in Acute Ischemic Stroke	JOURNAL OF CLINICAL MEDICINE	Original Article
178	前川　真人	臨床検査医学講座	Detection of extended spectrum beta lactamases producing Enterobacteriaceae using a matrix assisted laser desorption ionization time of flight mass spectrometry based MBT STAR BL	JOURNAL OF MICROBIOLOGICAL METHODS	Original Article
179	前川　真人	臨床検査医学講座	Efficacy of Stress Measurements Using Salivary Ultra-weak Chemiluminescence	Journal of Japanese society of occupational medicine and tramatology	Original Article
180	古田　隆久	臨床研究センター	Dual Therapy with Vonoprazan and Amoxicillin Is as Effective as Triple Therapy with Vonoprazan, Amoxicillin and Clarithromycin for Eradication of Helicobacter pylori	Digestion.	Original Article
181	古田　隆久	臨床研究センター	Relationship between primary eradication of Helicobacter pylori and drinking habits in women: collaborative research between a pharmacy and a clinic	Epidemiol Infect.	Original Article
182	山田　康秀	臨床腫瘍学講座	Docetaxel plus cisplatin and S-1 versus cisplatin and S-1 in patients with advanced gastric cancer (JCOG1013): an open-label, phase 3, randomised controlled trial	The lancet. Gastroenterology & hepatology	Original Article

183	山田　康秀	臨床腫瘍学講座	Sex differences in the safety of S-1 plus oxaliplatin and S-1 plus cisplatin for patients with metastatic gastric cancer	Cancer science	Original Article
184	乾　直輝	臨床薬理学講座	Effect of co-administered inducer or inhibitor on omeprazole pharmacokinetics based on CYP2C19 genotype	Journal of pharmacological sciences	Original Article

計184件

（注）1　当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2　報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること（筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。）

3　「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。

4　「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。

5　「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月（原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない）; 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること
（出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月（オンライン掲載月）の後に（オンライン）と明記すること）。
記載例:　Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9　/　Lancet. 2015 Dec（オンライン）

6　「論文種別」欄には、Original Article、Case report, Review, Letter, Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文（任意）

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
1	倉田　健太郎	眼科	浜松医科大学を受診した網膜芽細胞腫2例の遺伝子検査	眼科臨床紀要	Original Article
2	倉田　健太郎	眼科	RDH12遺伝子変異による網膜色素変性症の1例	臨床眼科	Original Article
3	彦谷　明子	眼科	前眼部OCTで内直筋腱断裂と診断した1例	眼科臨床紀要	Original Article
4	堀田　喜裕	眼科学講座	外斜視に対するPlicationとResectionの術後成績の比較	眼科臨床紀要	Original Article
5	堀田　喜裕	眼科学講座	Prism adaptation test施行の有無による間欠性外斜視の術後成績	眼科臨床紀要	Original Article
6	堀田　喜裕	眼科学講座	(亜)急性後天共同性内斜視に関する全国調査　デジタルデバイスとの関連について	眼科臨床紀要	Original Article
7	伊東　宏晃	産婦人科学講座	羊水塞栓症　病理組織所見に注目して	日本病理学会会誌	Original Article

8	伊東　宏晃	産婦人科学講座	羊水が血小板と血液凝固系に及ぼす影響Rotational thromboelastometryを用いた検討	日本産婦人科・新生児血液学会誌	Original Article
9	伊東　宏晃	産婦人科学講座	婦人科腹腔鏡下手術におけるアセトアミノフェン注射液の定時投与による術後鎮痛法の検討(総説)	関東連合産科婦人科学会誌	Original Article
10	伊東　宏晃	産婦人科学講座	妊娠初期に認められた血小板減少症の精査中に選択的IgA欠損症と診断された1例	静岡産科婦人科学会雑誌	Original Article
11	伊東　宏晃	産婦人科学講座	妊娠21週に持続する頭痛と嘔吐を契機に診断された海綿状血管奇形による脳出血の一例	静岡産科婦人科学会雑誌	Original Article
12	伊東　宏晃	産婦人科学講座	産婦人科で治療を行った悪性腹膜中皮腫の2例	静岡産科婦人科学会雑誌	Original Article
13	伊東　宏晃	産婦人科学講座	系統的診察の有用性が示唆された母体横隔膜ヘルニア合併妊娠の1例	静岡産科婦人科学会雑誌	Original Article
14	伊東　宏晃	産婦人科学講座	環状3番染色体を持つ女性の妊娠の1例	静岡産科婦人科学会雑誌	Original Article
15	伊東　宏晃	産婦人科学講座	qSOFA scoreが診断に有効であった敗血症を伴う腸チフス合併妊娠の一例	静岡産科婦人科学会雑誌	Original Article
16	伊東　宏晃	産婦人科学講座	Maternal floor infarction(MFI)の臨床像	静岡産科婦人科学会雑誌	Original Article
17	鈴木　一有	産婦人科地域医療学講座	羊水塞栓症の診断における亜鉛コプロポルフィリンⅠの役割	亜鉛栄養治療 = Journal of zinc nutritional therapy	Original Article
18	髙貝　就	児童青年期精神医学講座	自己肯定感の低い全般不安症の症例に対する入院森田療法での治療的関与の工夫	日本森田療法学会雑誌	Original Article
19	細川　誠二	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	レンバチニブ投与後に縦隔と交通する前胸部皮膚瘻をきたした甲状腺乳頭癌の2例	耳鼻咽喉科臨床	Original Article
20	中西　啓	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	当院で経験した中耳放線菌症3例の検討	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Original Article
21	本家　淳子	周術期等生活機能支援学講座	臨床倫理コンサルテーションに伴う困難さの探索的検討	人間と医療	Original Article
22	夏目　統	小児科学講座	当院での食物アレルギーに対する栄養食事指導の評価	小児科臨床	Original Article

23	長谷川　智彦	整形外科	第1腰椎椎体骨折後遅発性神経麻痺と鑑別を要した好酸球性多発血管炎性肉芽腫症の1例	Journal of Spine Research	Original Article
24	紫藤　洋二	整形外科学講座	長期経過観察を行ったErdheim-Chester disease(ECD)の1例	中部日本整形外科災害外科学会雑誌	Original Article
25	松山　幸弘	整形外科学講座	頸部筋緊張による不良肢位にて強い呼吸困難感を生じた1例	静岡整形外科医学雑誌	Original Article
26	松山　幸弘	整形外科学講座	頸胸椎部に発生した神経腸管嚢腫の3例	東海脊椎外科	Original Article
27	松山　幸弘	整形外科学講座	肘部管症候群手術症例の重症度別特徴年齢、病因、手術待機期間が重症度に深く関与する	末梢神経	Original Article
28	松山　幸弘	整形外科学講座	難治性髄液漏に対する治療戦略	臨床整形外科	Original Article
29	松山　幸弘	整形外科学講座	内側開大高位脛骨骨切り術における脛骨高原の回旋変化の検討	JOSKAS	Original Article
30	松山　幸弘	整形外科学講座	頭側固定端がT10以下であることは成人脊柱変形症に対する矯正手術後の近位隣接椎間障害に対する再手術の危険因子であ	静岡整形外科医学雑誌	Original Article
31	松山　幸弘	整形外科学講座	痛みの定量化Functional MRIを用いたカニクイザル疼痛誘発モデルにおける痛みの可視化	PAIN RESEARCH	Original Article
32	松山　幸弘	整形外科学講座	中山間地域住民運動器健診における4年間にわたる椎体骨折発生率の検討	日本骨粗鬆症学会雑誌	Original Article
33	松山　幸弘	整形外科学講座	単椎間後方椎体間固定術におけるTi coated PEEKとPEEKケージを用いた骨癒合傾向の違い	中部日本整形外科災害外科学会雑誌	Original Article
34	松山　幸弘	整形外科学講座	前十字靭帯損傷後のcyclops病変により膝関節伸展制限を生じた2例	中部リウマチ	Original Article
35	松山　幸弘	整形外科学講座	前十字靭帯再建術後の膝伸展および屈曲筋力に影響する因子の検討	静岡整形外科医学雑誌	Original Article
36	松山　幸弘	整形外科学講座	前十字靭帯再建術後1年における膝伸展および屈曲筋力に影響する因子の検討	日本整形外科スポーツ医学会雑誌	Original Article
37	松山　幸弘	整形外科学講座	切除術後出血を繰り返し、巨大肢を呈したびまん性神経線維腫症の1例	日本整形外科学会雑誌	Original Article

38	松山　幸弘	整形外科学講座	脊柱変形矯正術後には前屈時に非固定椎の筋活動量が増加する　表面筋電計を用いた研究	日本整形外科学会雑誌	Original Article
39	松山　幸弘	整形外科学講座	脊柱変形患者の体幹筋評価motor unit number estimationと病理所見による質的量的評価	日本整形外科学会雑誌	Original Article
40	松山　幸弘	整形外科学講座	脊柱管狭窄症に伴う肥厚黄色靭帯ではphosphatidylgrycerolが有意に上昇する	日本整形外科学会雑誌	Original Article
41	松山　幸弘	整形外科学講座	生物学的製剤時代に施行した関節リウマチ頸椎手術症例の検討	中部日本整形外科災害外科学会雑誌	Original Article
42	松山　幸弘	整形外科学講座	整形外科領域における神経障害性疼痛を再考する　特に中枢感作に注目して	関東整形災害外科学会雑誌	Original Article
43	松山　幸弘	整形外科学講座	整形外科の注射・ブロック療法のコツとピットフォール(第6回)コンドリアーゼを使用しての腰椎椎間板ヘルニアに対する治療	整形外科Surgical Technique	Original Article
44	松山　幸弘	整形外科学講座	成長期の大腿骨滑車部軟骨剥離に対して軟骨接合術を施行した1例	日本整形外科スポーツ医学会雑誌	Original Article
45	松山　幸弘	整形外科学講座	成人脊柱変形症に対する矯正固定術は中距離での歩行姿勢を改善させる　6分間歩行における矯正別サ	日本整形外科学会雑誌	Original Article
46	松山　幸弘	整形外科学講座	成人脊柱変形術後PJKの発生に脊椎矢状面カーブ形態が与える影響の検討	中部日本整形外科災害外科学会雑誌	Original Article
47	松山　幸弘	整形外科学講座	人工膝関節置換術後の膝関節屈曲角度に与える脛骨内旋量の影響	中部日本整形外科災害外科学会雑誌	Original Article
48	松山　幸弘	整形外科学講座	人工膝関節置換術におけるバンコマイシンの創内使用の効果の検討	日本骨・関節感染症学会プログラム・抄録集	Original Article
49	松山　幸弘	整形外科学講座	人工股関節置換術前後の臥位-立位-座位における脊椎-骨盤アライメントの変化	中部日本整形外科災害外科学会雑誌	Original Article
50	松山　幸弘	整形外科学講座	小児側彎矯正手術中のfalse positiveはanesthetic fadeにより発生する	日本整形外科学会雑誌	Original Article
51	松山　幸弘	整形外科学講座	小児側彎矯正および成人脊柱変形矯正手術中のTcMEP false-positive alertsの特徴	臨床神経生理学	Original Article
52	松山　幸弘	整形外科学講座	術中異常循環動態を来した上位頸椎部脊髄腫瘍の2例	Journal of Spine Research	Original Article

53	松山　幸弘	整形外科学講座	重度脊柱変形例で立位保持のために働く筋活動	日本整形外科学会雑誌	Original Article
54	松山　幸弘	整形外科学講座	思春期特発性側彎症術後のアライメント自家矯正には固定下端の椎間板が関与している	Journal of Spine Research	Original Article
55	松山　幸弘	整形外科学講座	腰椎分離症　100%を超える復帰　思春期腰椎分離症の分離部骨癒合促進を目的とした低出力超音波パルス治療(LIPUS)の応	日本整形外科スポーツ医学会雑誌	Original Article
56	松山　幸弘	整形外科学講座	腰椎椎間板ヘルニアに対するコンドリアーゼ治療の短期成績	静岡整形外科医学雑誌	Original Article
57	松山　幸弘	整形外科学講座	腰椎前方アプローチ-その光と影　LLIFの功罪	臨床整形外科	Original Article
58	松山　幸弘	整形外科学講座	腰椎後方椎体間固定術中における椎体間掻爬不良は術後6ヵ月の椎体間癒合不全に影響する	日本整形外科学会雑誌	Original Article
59	松山　幸弘	整形外科学講座	経頭蓋刺激末梢筋誘発電位(Tc-MEPs)の有害事象	臨床神経生理学	Original Article
60	松山　幸弘	整形外科学講座	胸腰椎カーブの形態は新規椎体骨折の発生に関与する	中部日本整形外科災害外科学会雑誌	Original Article
61	松山　幸弘	整形外科学講座	寛骨臼骨折術後の骨欠損を伴う変形性股関節症に対して3Dモデルを作成し人工股関節置換術を行った1例	静岡整形外科医学雑誌	Original Article
62	松山　幸弘	整形外科学講座	外側型変形性足関節症に対してマイクロフラクチャーと踵骨内側移動骨切り術を施行した1例	日本足の外科学会雑誌	Original Article
63	松山　幸弘	整形外科学講座	画像診断　骨粗鬆症性椎体不顕性骨折はCT値で診断可能である	整形外科	Original Article
64	松山　幸弘	整形外科学講座	円靱帯損傷は寛骨臼大腿骨頭曲率中心間距離に影響する	日本整形外科学会雑誌	Original Article
65	松山　幸弘	整形外科学講座	栄養不良は人工膝関節全置換術後にせん妄を生じるリスク因子である	JOSKAS	Original Article
66	松山　幸弘	整形外科学講座	運動器疾患の病態を捉えるイメージングFunctional MRIを用いたカニクイザル疼痛誘発モデルにおける痛みの可視化	日本整形外科学会雑誌	Original Article
67	松山　幸弘	整形外科学講座	咽頭がん放射線化学療法後、二次性軟部肉腫	日本整形外科学会雑誌	Original Article

68	松山　幸弘	整形外科学講座	医原性末梢神経損傷に対し手術加療を要した症例の傾向	末梢神経	Original Article
69	松山　幸弘	整形外科学講座	ロコモティブシンドロームと理学療法(第5回)　術直後からのリハビリテーションは成人脊柱変形手術成績をより改善する	理学療法学	Original Article
70	松山　幸弘	整形外科学講座	びまん性特発性骨増殖症(DISH)の病態と関連疾患の治療　DISHの疫学　DISHが高齢者の運動機能に与える影響	日本関節病学会誌	Original Article
71	松山　幸弘	整形外科学講座	カニクイザル椎間板障害モデルにおける腰痛関連脳活動の解明　椎間板性疼痛は二次体性感覚野および島皮質の活動を増	PAIN RESEARCH	Original Article
72	松山　幸弘	整形外科学講座	Muller-Weiss病に対して距舟関節固定術を施行した1例	中部日本整形外科災害外科学会雑誌	Original Article
73	松山　幸弘	整形外科学講座	Fascin 1による軸索伸長の促進	日本整形外科学会雑誌	Original Article
74	松山　幸弘	整形外科学講座	CM関節固定後30年に再手術を要した1例	中部日本整形外科災害外科学会雑誌	Original Article
75	松山　幸弘	整形外科学講座	【傍脊柱筋の機能解剖学,姿勢制御と手術アプローチ】(第4章)傍脊柱筋の画像検査骨盤アライメント(傍脊柱筋との関連)	脊椎脊髄ジャーナル	Original Article
76	松山　幸弘	整形外科学講座	【脊椎脊髄外科の最近の進歩】各種疾患に対する治療法・モダリティ　成人脊柱変形手術の治療成績　年齢層ごとの腰痛,GERD症状の変化と合併症	整形・災害外科	Original Article
77	松山　幸弘	整形外科学講座	【脊柱靭帯骨化症UP TO DATE】後縦靭帯骨化症に対する術中脊髄モニタリング	脊椎脊髄ジャーナル	Original Article
78	松山　幸弘	整形外科学講座	【脊柱と脊髄】病態編　病態と治療　脊柱側彎症	Clinical Neuroscience	Original Article
79	松山　幸弘	整形外科学講座	【腰椎椎間板ヘルニアに対する化学的融解術NOW】コンドリアーゼ治療の短期成績　効果的な症例と	脊椎脊髄ジャーナル	Original Article
80	松山　幸弘	整形外科学講座	【運動器疾患に対する保存的治療-私はこうしている】有害事象と対策,予防　術後せん妄予防のための術前栄養介入の効果	別冊整形外科	Original Article

81	松山　幸弘	整形外科学講座	【レジデントにとって必要な運動器疾患の診断法-Tips and Essence-】治療方針決定に必要な診断法 青壮年・中高年期の代表的疾患　脊椎 頸椎変性疾患　頸椎症性頸髄症と頸椎症性神経根症の診断と	関節外科	Original Article	
82	藤澤　朋幸	第二内科	市中肺炎に対するレボフロキサシン・スイッチ療法の有効性・安全性の検討	新薬と臨牀	Original Article	
83	竹下　明裕	輸血・細胞治療部	輸血後の赤血球不規則抗体発現に関する前方向性研究　パイロット試験の結果	日本輸血細胞治療学会誌	Original Article	
84	竹下　明裕	輸血・細胞治療部	高校生の献血に向けて効果的な献血推進活動とは　高校生を対象とした献血に関する意識調査(第3報)	日本輸血細胞治療学会誌	Original Article	
85	永田　泰之	内科学第三講座	化学療法後のFDG-PET/CTでリンパ節や筋肉内に異常集積を認めたsarcoidosis-lymphoma syndrome	臨床血液	Original Article	
86	須田　隆文	内科学第二講座	日本呼吸器学会の会員、専門医の最近の動向に関する検討	日本呼吸器学会誌	Original Article	
87	中村　和正	放射線腫瘍学講座	子宮頸癌に対する腔内照射を含めた根治的放射線治療成績の検討	臨床放射線	Original Article	
88	川島　信吾	麻酔・蘇生学講座	褐色細胞腫摘出術後に喘息発作を再発した1症例	日本集中治療医学会雑誌	Original Article	
89	川島　信吾	麻酔・蘇生学講座	グリコカリックスと心臓麻酔	Cardiovascular Anesthesia	Original Article	
90	中島　芳樹	麻酔・蘇生学講座	想像し、創造して、現場に活かす　高機能患者シミュレータ(HPS)の未来に向けた想像的思考.	日本臨床麻酔学会誌.	Original Article	
91	鈴木　興太	麻酔科蘇生科	ビタミンD欠乏が脳動脈瘤破裂に及ぼす影響　マウス脳動脈瘤モデルでの検討		Original Article	
92	鈴木　興太	麻酔科蘇生科	スプリングガイドカテーテルによる硬膜外腔癒着剥離術を2回施行した腰椎手術後疼痛症候群の1症		Original Article	
93	前川　真人	臨床検査医学講座	全自動尿中有形成分分析装置UF-5000によるEscherichia coliを対象とした迅速な薬剤感受性検査法の構	臨床病理	Original Article	計93件

（注）1　当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2　記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

（様式第 3）

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3　高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1)倫理審査委員会の開催状況

①　倫理審査委員会の設置状況	(有)・無
②　倫理審査委員会の手順書の整備状況	(有)・無
・　手順書の主な内容 ア　倫理委員会の役割・責務等 イ　倫理委員会の業務 ウ　倫理委員会の運営 エ　倫理委員会における審査 オ　倫理委員会事務局の業務	
③　倫理審査委員会の開催状況	年12回

（注）　1　倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に〇印を付けること。
　　2　前年度の実績を記載すること。

(2)利益相反を管理するための措置

①　利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	(有)・無
②　利益相反の管理に関する規定の整備状況	(有)・無
・　規定の主な内容 ア　利益相反マネジメントの目的・対象・対象者 イ　利益相反マネジメント委員会の設置・審議事項・組織 ウ　利益相反マネジメントのための調査方法 エ　審議、勧告、決定等の手続き オ　臨床研究に関する調査等 カ　研修・啓発活動	

③　利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年6回

（注）前年度の実績を記載すること。

(3)臨床研究の倫理に関する講習等の実施

①　臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年12回
・研修の主な内容 ア　臨床研究の倫理と本学の臨床研究サポート体制 イ　事例に学ぶ研究倫理～公正な研究活動を推進するために～ ウ　臨床研究法と今後の臨床研究について エ　大学が企業とおこなう薬づくり オ　患者の立場から臨床研究に期待すること	

（注）前年度の実績を記載すること。

（様式第 4）

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1　研修の内容

小児科プログラム、皮膚科プログラム、精神科プログラム、放射線科プログラム、病理プログラム、臨床検査プログラム、内科プログラム、家庭医療プログラム、整形外科プログラム、産婦人科プログラム、眼科プログラム、耳鼻咽喉科・頭頚部外科プログラム、泌尿器科プログラム、脳神経外科プログラム、麻酔科プログラム、救急科プログラム、形成外科プログラム、リハビリテーション科プログラム、外科プログラム、口腔外科専門医取得プログラム

（注）上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2　研修の実績

上記研修を受けた医師数	73　人

（注）前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3　研修統括者

研修統括者氏名	診　療　科	役　職　等	臨床経験年数	特　記　事　項
宮嶋　裕明	第一内科	教授	39年	
須田　隆文	第二内科	教授	34年	
前川　裕一郎	第三内科	教授	25年	
山末　英典	精神科神経科	教授	22年	
緒方　　勤	小児科	教授	38年	
椎谷　紀彦	第一外科	教授	36年	
竹内　裕也	第二外科	教授	28年	
黒住　和彦	脳神経外科	教授	23年	
松山　幸弘	整形外科	教授	32年	
本田　哲也	皮膚科	教授	20年	
三宅　秀明	泌尿器科	教授	27年	
堀田　喜裕	眼科	教授	37年	
峯田　周幸	耳鼻咽喉科	教授	40年	
伊東　宏晃	産科婦人科	教授	34年	
五島　聡	放射線科	教授	20年	
中村　和正	放射線科	教授	32年	
中島　芳樹	麻酔科蘇生科	教授	33年	
加藤　文度	歯科口腔外科	教授	40年	（歯科医師免許：36年）
山内　克哉	ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ科	准教授	26年	
中川　雅裕	形成外科	特任教授	29年	
渡邉　裕司	臨床薬理内科	教授	37年	
前川　真人	検査部	教授	38年	
馬場　　聡	病理部	教授	35年	
吉野　篤人	救急部	教授	34年	

（注）1　医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

（注）2　内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

（注）3　外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

（様式第 4）

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4　医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

①　医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
・研修の主な内容 ①感染管理　②救急看護　③皮膚排泄ケア　④認知症看護　⑤看護研究　⑥看護倫理 ⑦医療安全） ・研修の期間・実施回数 ①4/6　②9/18 ③7/17 7/20　④9/11 9/14 ⑤5/14 6/17 7/15 ⑥4/3　⑦4/6 7/10 7/13 ・研修の参加人数 ①70人 ②13人 ③36人34人 ④39人45人 ⑤47人26人25人 ⑥70人 ⑦80人36人34人
②　業務の管理に関する研修の実施状況（任意）
・研修の主な内容 ①入退院支援研修　②災害看護 ・研修の期間・実施回数 ①7/27 10/12 12/18　②7/29 ・研修の参加人数 ①13名 13名 13名　②25人
③　他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況
・研修の主な内容　　がん看護 ・研修の期間・実施回数　　9/4 ・研修の参加人数　　20人

（注）1　高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

（注）2　「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

（様式第 5）

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	１．計画　　②．現状
管理責任者氏名	病院長　松山　幸弘
管理担当者氏名	総務課長：長井　享悟／人事課長：伊藤一二三／医事課長：山口　誠 薬剤部長：川上純一／放射線部長：中村和正／手術部長・医療機器管理部長：中島芳樹 看護部長：佐々木菜名代／診療情報管理部長：前川裕一郎

			保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	規則第二十二条の三第二項に掲げる事項	病院日誌	医事課	全科電子カルテを導入。カルテは、一患者1ＩＤとし、入院及び外来ともに診療情報室において保存管理している。診療録の院外持ち出しは禁止している。
		各科診療日誌	医事課	
		処方せん	薬剤部	
		手術記録	医事課	
		看護記録	医事課	
		検査所見記録	医事課	
		エックス線写真	放射線部	
		紹介状	医事課	
		退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	医事課	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二条の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	人事課	
		高度の医療の提供の実績	医事課	
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	総務課・医事課	
		高度の医療の研修の実績	医事課	
		閲覧実績	総務課	
		紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課・薬剤部	
	規則第一条の十一第一項に掲げる事項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医事課･医療安全管理室	
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医事課･医療安全管理室	
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医事課･医療安全管理室	
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医事課･医療安全管理室	

			保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	医事課・感染対策室	
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医事課・感染対策室	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医事課・感染対策室	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医事課・感染対策室	
		医薬品安全管理責任者の配置状況	薬剤部	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
		医療機器安全管理責任者の配置状況	医療機器管理部	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療機器管理部	
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療機器管理部	
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療機器管理部	

			保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第一項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医事課・医療安全管理室	
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医事課・感染対策室	
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部	
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医事課・診療情報管理部	
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医事課・診療情報管理部	
		医療安全管理部門の設置状況	医事課・医療安全管理室	
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医事課・医療安全管理室	
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	薬剤部	
		監査委員会の設置状況	医事課	
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医事課・医療安全管理室	
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医事課・医療安全管理室	
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課・医療安全管理室	
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	医事課・医療安全管理室	
		職員研修の実施状況	医事課・医療安全管理室	
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医事課・医療安全管理室	
		管理者が有する権限に関する状況	人事課	
		管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	監査室	
		開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	総務課	

（注）「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

（様式第 6）

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	１．計画　　②．現状	
閲覧責任者氏名	事務局次長（総務・教育担当）　柿澤　稔	
閲覧担当者氏名	総務課長　長井 亨悟	
閲覧の求めに応じる場所	総務課情報公開室	
閲覧の手続の概要 独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律（平成13年法律第140号）に基づき、国籍、住所、年齢、個人及び法人を問わず、浜松医科大学の保有する法人文書の開示を請求することができる。請求を受理してから、30日以内（請求の内容によってはそれ以上の日数を要する場合もある。）に開示・不開示等を決定し、請求者に通知する。その後、請求者からの開示の実施申出を受け開示を実施する。		

（注）既に医療法施行規則第 9 条の 20 第 5 号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延　0　件
閲覧者別	医師	延　0　件
	歯科医師	延　0　件
	国	延　0　件
	地方公共団体	延　0　件

（注）特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第１条の11第１項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

①　医療に係る安全管理のための指針の整備状況	(有)・無
・　指針の主な内容： １安全管理に関する基本的な考え方 ２医療に係る安全管理のための委員会その他組織に関する基本的事項 ３医療に係る安全教育のための職員研修に関する基本方針 ４事故報告の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 ５医療事故等発生時の対応に関する基本方針 ６職員と患者との間の情報共有に関する基本方針 ７患者からの相談への対応に関する基本方針 ８その他医療安全の推進のための必要な基本方針	
②　医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
・　設置の有無（(有)・無　） ・　開催状況：年　　12回 ・　活動の主な内容： 医療安全管理体制の確保に関すること 医療事故等の把握、分析、対処改善、評価及び見直しに関すること 医療に係る安全管理のための職員の研修に関すること その他の医療の安全管理に関すること	
③　医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年24回
・　研修の内容（すべて）： 【医療安全講習会】 ３回（全職員対象） 【職種・部署別】 新採用職員ガイダンス：1回、研修医：1回、新採用看護師研修：2回 看護師採用時研修：10回、看護助手採用時研修：4回、 看護助手研修：1回、静脈注射院内認定看護師研修：2回 新採用・中途採用職員（看護部職員以外）：e-learning 看護職員（育休復帰者）：e-learning 【委託業者】 清掃業者	
④　医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
・　医療機関内における事故報告等の整備　（(有)・無　） ・　その他の改善のための方策の主な内容： 収集した情報をもとに、A)外部参加型事例調査、B) 院内事例調査、C) M&Mカンファレンス、D)部署内検証レビュー、E)医療安全管理室のカンファレンス、F)医師並びに看護師GRMが検証、G)検証不要に分類し必要なスタッフで事例検証し、問題点を分析し、改善策を立案し、現場スタッフにフィードバックしている。	

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第１条の 11 第２項第１号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

①　院内感染対策のための指針の策定状況	(有)・無
・　指針の主な内容： １．院内感染対策に関する基本的な考え方 ２．院内感染対策に関する管理組織機構 ３．従業者研修に関する基本方針 ４．感染症の発生状況の報告に関する基本方針 ５．アウトブレイクあるいは異常発生時の対応に関する基本方針 ６．患者等への情報提供と説明に関する基本方針 ７．感染対策に関する地域医療機関との連携 ８．その他院内感染対策及び抗菌薬適正使用推進のための基本方針	
②　院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
・　活動の主な内容： １．院内感染対策の検討・推進 ２．院内感染防止の対応及び原因究明 ３．院内感染等の情報収集及び分析（抗菌薬の使用状況、分離菌種などの情報を含む） ４．院内感染防止策及び抗菌薬適正使用等に関する従業者の教育・研修 ５．従業者の感染管理 ７．その他院内感染対策に関する事項	
③　従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年38回
・　研修の内容（すべて）： 【院内感染対策講習会】 ４回（全職員対象） 【職種・部署別】 新採用職員ガイダンス：1回、研修医：1回、新採用看護師研修：2回 看護師採用時研修：10回、看護助手採用時研修：4回、 看護助手研修：1回、静脈注射院内認定看護師研修：2回 新採用・中途採用職員（看護部職員以外）：e-learning 看護職員（育休復帰者）：e-learning 新型コロナウイルス感染症研修：看護師2回　医師4回　放射線部1回 新型コロナウイルス感染症対策合同カンファレンス、シミュレーション：6回 【委託業者】 ・清掃業者	
④　感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
・　病院における発生状況の報告等の整備　（(有)・無　） ・　その他の改善のための方策の主な内容： ・ICTラウンド（週1回）による感染対策の実施状況および環境整備の確認 ・耐性菌発生状況の把握とアウトブレイク介入基準に基づく介入、および血液培養陽性患者の把握と評価 ・広域抗菌薬、抗MRSA薬、抗真菌薬の使用患者についてモニタリングと抗菌薬適正使用の評価 ・感染対策に関する介入を要した事例の部署別ミーティングの実施 ・院内Web内の感染対策ホームページへの掲載、ICT NEWSの発行、感染対策情報の回覧等による感染情報の提供 ・院内感染対策ポケットマニュアルの配布 ・新型コロナウイルス感染症対策会議の開催	

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第１条の11第２項第２号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

①　医薬品安全管理責任者の配置状況	(有)・無
②　従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年１回
・　研修の主な内容： 医薬品の副作用、血中濃度測定のための採血の必要性、廃棄時の注意、調製方法	
③　医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・　手順書の作成　（(有)・無　） ・　手順書の内訳に基づく業務の主な内容： 実施状況については年1回チェックシートを用いて確認している。	
④　医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・　医薬品に係る情報の収集の整備　（(有)・無　） ・　未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）： ・抗MDA-5抗体陽性の皮膚筋炎に伴う間質性疾患に対するヤヌスキナーゼ阻害薬の投与 ・膵神経内分泌腫瘍に対する5-FUの投与 ・　その他の改善のための方策の主な内容： 薬剤師による処方監査・処方確認および入院患者への処方確認時に使用目的を確認し、必要に応じて疑義照会および処方確認を実施している。 病棟担当薬剤師が病棟での診療科カンファレンスに参加し患者の薬物治療について情報を収集し、適応外使用の可能性がある場合には医薬品安全管理室や医薬品情報管理室薬剤師とその都度情報を共有している。適応外使用の申請がなされた場合、診療倫理委員会事務局から医薬品情報管理室へ個々の適応外使用のリスクについて相談する体制を取っている。医薬品情報管理室から病棟担当者や調剤室など関連する部門へ適応外使用の情報を共有している。	

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第１条の11第２項第３号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

①　医療機器安全管理責任者の配置状況	(有)・無
②　従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年　83回
・　研修の主な内容： 7種の機種（本院は診療用粒子線照射装置を持たず）を含む医療機器の有効性、使用法、保守点検の方法、不具合発生時の報告手順、法令の定めるコンプライアンスの遵守事項の確認を中心に行った。	
③　医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・　医療機器に係る計画の策定　（(有)・無　） ・　機器ごとの保守点検の主な内容： 機器に添付される使用・保守説明書に記載された点検項目に従い点検を行った。	
④　医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・　医療機器に係る情報の収集の整備　（(有)・無　） ・　未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）：なし ・　その他の改善のための方策の主な内容： ① 呼吸サポートチーム（RST）が中央診療施設、病棟の呼吸器全般（条件、作動状況のコンサルタントなど）を巡回監視した。　活動は1回/週、定例会議は1回/月 ② 病棟で使用する患者モニター、呼吸器の作動状況の確認のため、1回/日（日曜日以外）MEが巡回監視を実施した。 ③ 当直担当者を配置し、医療機器全般の緊急対応を行った。 ④ 待機当番を配置し、通常業務の時間外の対応や夜間祝日の緊急手術等の対応を行った。	

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第９条の２０の２第１項第１号から第１３号に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	(有)・無
・責任者の資格（(医師)・歯科医師） ・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況 →医療安全管理規程を定め、統括している。	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	(有)（　１名）・無
③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況 ・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況 情報の整理は薬剤部医薬品情報管理室にて実施している。 情報の周知は添付文書改訂の通知を定期的に実施している。また医薬品安全性情報等の通知および当該医師への伝達、DI ニュースの発行などを必要に応じて実施している。 ・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況 未承認薬等による治療が必要になった場合、治療を実施する医師は薬剤部医薬品安全管理室あるいは製剤室に照会する。 病棟などで薬剤師が確認した際は医師に疑義照会などを実施している。 院内製剤は診療倫理委員会及び薬剤管理委員会にて承認を受ける。 ・担当者の指名の有無（(有)・無） ・担当者の所属・職種： （所属：薬剤部　，職種　薬剤師　　）　（所属：　　，職種　　） （所属：　　，職種　　）　（所属：　　，職種　　） （所属：　　，職種　　）　（所属：　　，職種　　） （所属：　　，職種　　）　（所属：　　，職種　　）	
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	(有)・無
・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無　（(有)・無　）	
・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容：サンプル調査を実施（サンプル対象は、難易度が高いものとして外保連手術難易度Ｅに該当する患者から抽出）、医療者の同席率と IC 後の反応の記録について調査し、診療情報管理委員会にて報告	

を行った。

⑤　診療録等の管理に関する責任者の選任状況	(有)・無
・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容： 全症例について、退院時要約、手術記録、入院診療計画書を確認。さらに多職種（医師、看護師、薬剤師、事務）による診療記録監査（入院診療計画書、診療録、看護記録、薬剤記録、退院時要約、手術記録、説明同意書）をサンプル調査にて実施し、診療情報管理委員会にて報告を行った。	

⑥　医療安全管理部門の設置状況	(有)・無
・所属職員：専従（３）名、専任（３）名、兼任（１０）名 うち医師：専従（１）名、専任（１）名、兼任（４）名 うち薬剤師：専従（１）名、専任（１）名、兼任（　）名 うち看護師：専従（１）名、専任（１）名、兼任（２）名 （注）報告書を提出する年度の 10 月１日現在の員数を記入すること ・活動の主な内容： 医療事故及びインシデントの収集、調査、分析に関すること。 医療事故防止対策の立案及び周知に関すること。 リスクマネージャーとの連絡調整に関すること。 医療事故防止に係る病院内の巡視・点検・評価に関すること。 医療事故防止に係る教育・研修・啓発の立案に関すること。 医療事故防止対策マニュアルの作成に関すること。 医療事故等に係る診療録等記載の確認、指導に関すること。 医療事故等に係る対応状況の確認、指導に関すること。 病院医療安全管理委員会の庶務に関すること。 医療安全に資する診療の状況の把握及び職員の医療安全の認識の状況の確認に関すること。 ※モニタリングの具体例 ・手術時の静脈血栓予防策の実施率 ・中心静脈挿入時のチェックリスト ・コードブルー発生件数 ※　平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。 ※　医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。	

⑦　高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況
・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（１件）、及び許可件数（１件） ・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（ 有・無 ） ・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ 有・無 ） ・活動の主な内容： 病院で行う新規医療技術の導入の申請に対し倫理的・科学的妥当性について審査、確認及び事後検証。 ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（ 有・無 ） ・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（ 有・無 ）

⑧　未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況
・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（0 件）、及び許可件数（0 件） ・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（ 有・無 ） ・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ 有・無 ） ・活動の主な内容： 当院では薬剤部・薬剤管理委員会を未承認新規医薬品等の担当部門としており、「当院で使用したことのない医薬品であって、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律における承認または認証を受けていないもの」の導入に際して、以下の項目について審査を行っている。 ・当該未承認新規医薬品等と既存の医薬品とを比較した場合の優位性（予測される有害事象の重篤性、頻度等の安全性等の観点を含む。） ・未承認新規医薬品等の使用条件（使用する医師又は歯科医師の制限等） ・当該未承認新規医薬品等の使用に起因するものと疑われる有害事象の把握の方法（血液検査の実施、調査票の配布等） ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（ 有・無 ） ・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無　（ 有・無 ）
⑨　入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況
・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 270 件

・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年　79 件

・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容

各事例に応じ医療安全管理室カンファレンス、他職種カンファレンス（Ｍ＆Ｍカンファ）、部署内検証の結果をもとに、事例の検証を行い再発防止策の立案を行っている

⑩　他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

・他の特定機能病院等への立入り（ (有)（病院名：島根大学医学部附属病院）・無）

・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（ (有)（病院名：長崎大学医学部附属病院）・無）

・技術的助言の実施状況

医療安全部門における事務業務の見直しを行い、タスクのシフト等について検討している。

⑪　当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

・体制の確保状況

医療安全患者相談窓口の設置　→　医療安全管理室

責任者：医療安全管理室長

ゼネラルリスクマネージャー（ＧＲＭ）及び

医事課医療安全推進係長

⑫　職員研修の実施状況

・研修の実施状況

【医療安全講習会】

３回（全職員対象

【職種・部署別】

新採用職員ガイダンス：1回、研修医：1回、新採用看護師研修：2回
看護師採用時研修：10回、看護助手採用時研修：4回、
看護助手研修：1回、静脈注射院内認定看護師研修：2回
新採用・中途採用職員（看護部職員以外）：e-learning
看護職員（育休復帰者）：e-learning

【委託業者】

清掃業者

（注）前年度の実績を記載すること（⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること）

⑬　管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況
・研修の実施状況 　管理者及び医療安全管理責任者については、公益財団法人日本医療機能評価機構が実施する病院管理者研修を受講予定である。 　また、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者については公益財団法人日本医療機能評価機構が実施する病院管理者研修を受講済みである。

（注）前年度の実績を記載すること（⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること）

規則第７条の２第１項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準
・ 基準の主な内容 １．医師免許を有している者 ２．医療安全確保のために必要な資質・能力を有している者 ３．病院の管理運営に必要な資質・能力を有している者 ４．本学及び本院の理念に基づいた病院運営を遂行できる者 ・ 基準に係る内部規程の公表の有無（ 有・無 ） ・ 公表の方法 大学HPに公表

規則第７条の３第１項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	有・無
・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無（ 有・無 ） ・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無（ 有・無 ） ・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無（ 有・無 ） ・ 公表の方法 大学HPに公表	

管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由

氏名	所属	委員長 （○を付す）	選定理由	特別の関係
山本　清二	浜松医科大学理事		医学部附属病院長候補者選考会議規程第３条第１号に基づく学長が指名する理事又は副学長	有・無
渡邉　裕司	浜松医科大学理事	○	医学部附属病院長候補者選考会議規程第３条第１号に基づく学長が指名する理事又は副学長	有・無
難波　宏樹	浜松医科大学医学部脳神経外科学講座教授		医学部附属病院長候補者選考会議規程第３条第３号に基づく病院運営企画室会議からの選出	有・無
紀平　幸一	静岡県医師会長		医学部附属病院長候補者選考会議規程第3条第4号に基づく学長が委嘱する学外有識者 医療・保健・福祉全般に豊富な知	有・無

			見を有しているため	
御室　健一郎	浜松いわた信用金庫理事長		医学部附属病院長候補者選考会議規程第3条第4号に基づく学長が委嘱する学外有識者 法人経営や地域の経済・社会について豊富な知見を有しているため	有・(無)
毛利　　博	静岡県病院協会長		医学部附属病院長候補者選考会議規程第3条第4号に基づく学長が委嘱する学外有識者 医療・保健・福祉全般に豊富な知見を有しているため	有・(無)

規則第９条の２３第１項及び第２項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無	(有)・無

・合議体の主要な審議内容
・病院運営における中期目標、中期計画に関する事項（進捗状況含む）。
・病院予算、業務実績報告に関する事項。
・その他病院運営に関する事項。

・審議の概要の従業者への周知状況
診療科長会議で報告を行っている。院内ホームページに議事内容を掲載している。

・合議体に係る内部規程の公表の有無（　有・(無)　）
・公表の方法

・外部有識者からの意見聴取の有無（　有・(無)　）

合議体の委員名簿

氏名	委員長（〇を付す）	職種	役職
松山　幸弘	〇	医師	病院長
堀田　喜裕		医師	副病院長（渉外・広報担当）
中村　和正		医師	副病院長（教育・研修担当）
三宅　秀明		医師	副病院長（運営・管理担当）
竹内　裕也		医師	副病院長（リスクマネジメント担当）
佐々木菜名代		看護師	副病院長（患者サービス担当）・看護部長
宮嶋　裕明		医師	第一内科主任診療科長
前川　裕一郎		医師	第三内科主任診療科長
椎谷　紀彦		医師	第一外科主任診療科長
伊東　宏晃		医師	産科婦人科診療科長
中島　芳樹		医師	麻酔科蘇生科診療科長
増本　一真		歯科医師	歯科口腔外科病棟医長
前川　真人		医師	検査部長
木村　通男		医師	医療情報部長
小林　利彦		医師	医療福祉支援センター長
川上　純一		薬剤師	薬剤部長
安田　浩明		事務	事務局次長（病院担当）

規則第１５条の４第１項第１号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限
・　管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（　有・(無)　） ・　公表の方法 ・　規程の主な内容 　病院長は、病院の業務を統括する。 ・　管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割 　副病院長（渉外・広報担当） 　副病院長（教育・研修担当） 　副病院長（運営・管理担当） 　副病院長（リスクマネジメント担当） 　副病院長（患者サービス担当） ・　病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況 　毎年1回開催される以下の会議・勉強会・研修会等に職員を参加させ、病院のマネジメントを担う人員の育成に努めている。 　・近畿・中部地区病院経営企画担当事務職員勉強会 　・近畿・中部地区附属病院経営担当課長等会議 　・国立大学附属病院係長クラス勉強会 　・国立大学附属病院契約実務担当者ワークショップ 　・国立大学附属病院若手職員勉強会

規則第１５条の４第１項第２号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する状況

監査委員会の設置状況	有・無

・監査委員会の開催状況：年　２回

・活動の主な内容：

本院の安全管理体制について外の委員も含めた委員で監査・評価を実施する。

・監査委員会の業務実施結果の公表の有無（ 有・無 ）

・委員名簿の公表の有無（ 有・無 ）

・委員の選定理由の公表の有無（ 有・無 ）

・監査委員会に係る内部規程の公表の有無（ 有・無 ）

・公表の方法：

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）

氏名	所属	委員長（○を付す）	選定理由	利害関係	委員の要件該当状況
小島　崇宏	大阪Ａ＆Ｍ法律事務所	○	医療に係る安全管理に関する識見を有する者	有・無	1
桑原　允嗣	静岡県立高等学校元副校長		医療を受ける者	有・無	2
大磯　義一郎	国立大学法人浜松医科大学		法律に関する識見を有する者	有・無	1
				有・無	
				有・無	
				有・無	

（注）　「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第１５条の４第１項第３号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況
・体制の整備状況及び活動内容 　内部統制システム推進責任者（病院長）は、附属病院の業務における内部統制システム（法令等に適合するための体制及びその他業務の適正を確保するための体制）の整備及び運用を推進するとともに、その整備及び運用状況について、内部統制担当役員に定期的に報告を行うものとしており、内部統制担当役員は、内部統制上の重大な問題を発見し、又は報告を受けたときは、速やかに適切な対処を行うとともに、内部統制最高管理責任者（学長）に報告し、併せて再発防止措置を講ずるものとしている。 ・　専門部署の設置の有無（　(有)・無　） ・　内部規程の整備の有無（　(有)・無　） ・　内部規程の公表の有無（　(有)・無　） ・　公表の方法 　ホームページによる公表

規則第１５条の４第１項第３号ロに掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況

・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況

国立大学法人法に基づき、大学法人の経営に関する重要事項を審議する機関として経営協議会を置いている。当協議会は、外部有識者の諮問会議の性質を有するもので、大学法人経営の大きなウエイトを占める附属病院の管理運営に関しても多くの意見・助言等を受けている。

・ 会議体の実施状況（　年４回　）

・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（ 有・無 ）（　年４回　）

・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（　有・無 ）

・ 公表の方法
規程は公表していないが、運営の透明性を担保するため、協議会の開催状況、審議内容、外部委員の意見等を大学ホームページで公開している。

病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：国立大学法人浜松医科大学経営協議会

会議体の委員名簿

氏名	所属	委員長（〇を付す）	利害関係
今野　弘之	学長	〇	有
山本　清二	理事（教育・産学連携担当）		有
渡邉　裕司	理事（企画・評価担当）		有
田中　宏和	理事（財務担当）		有
畫馬　明	理事（経営担当）		有
松山　幸弘	副学長（病院担当）		有
伊藤　修二	公益財団法人浜松市文化振興財団代表理事		無
猿田　享男	公益財団法人　医療研修推進財団顧問		無
紀平　幸一	一般社団法人　静岡県医師会長		無
布村　幸彦	公益財団法人　東京ｵﾘﾝﾋﾟｯｸ・ﾊﾟﾗﾘﾝﾋﾟｯｸ競技大会組織委員会副事務総長		無
正木　治恵	千葉大学大学院看護学研究科教授		無
御室　健一郎	浜松信用金庫理事長		無
門田　守人	地方独立行政法人　堺市立病院機構理事長		無

（注）　会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第１５条の４第１項第４号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
・情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（ 有 ・ 無 ） ・通報件数（年０件） ・窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無（ 有 ・ 無 ） ・窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（ 有 ・ 無 ） ・周知の方法 医療安全ニュース等において周知

（様式第 7）

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1　病院の機能に関する第三者による評価

①　病院の機能に関する第三者による評価の有無	(有)・無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期 公益財団法人日本医療機能評価機構　令和元年6月17日（月）～19日（水）※更新審査 検査部：公益財団法人日本適合性認定協会　平成31年3月6日（水）、7日（木）	

(注)医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2　果たしている役割に関する情報発信

①　果たしている役割に関する情報発信の有無	(有)・無
・情報発信の方法、内容等の概要 （１）広報誌による情報発信 ①病院案内（年1回発行） ②「はんだ山の風」（年4回発行） ③医療福祉支援センター広報誌「かけはし」（年4回発行） （２）市民公開講座等による情報発信 ①　浜松医科大学主催「公開講座」（R02.11開催予定） ②　浜松医科大学主催　静岡がん治療フォーラムを開催 ③　静岡肝疾患診療連携拠点病院主催で「市民公開講座」（年3回）を実施している。	

3　複数の診療科が連携して対応に当たる体制

①　複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	(有)・無
・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 (1)緩和ケアチーム、褥瘡対策チーム、呼吸ケアサポートチーム、精神科リエゾンチーム、栄養サポートチームによるチーム医療を提供している。 (2)感染対策室、医療安全管理室、医療福祉支援センター（がん相談、肝疾患相談、難病相談、退院支援）等多職種が参加した診療・ケアの実施している。	